

## IV 委員会活動報告

### 1. 学生センター部門

#### (1) 教務委員会

##### 1) 全学教務委員会

###### (a) 委員会開催

平成27年4月22日(水) 8:40~9:30

- (1) 学事関連の取組スケジュールの審議および決定
- (2) 海外研修の単位認定について検討
- (3) TOEICの履修者数が多くクラス増を決定
- (4) 認証評価対応について確認および検討
- (5) 入学前修得単位の認定について上限30単位であることを確認
- (6) 修業年限を越えた留年生の卒業要件に関わらない科目の履修および学費に関する内規を確認

平成27年5月26日(火) 16:50~18:30

- (1) 「地域課題研究」の「健康」テーマクラスが閉講になったため、「防災」テーマクラスの追加を決定
- (2) 2016年度の年間予定について検討
- (3) 教務事項における学生指導について
- (4) 国際ロータリー第2600地区からの寄付講座について検討
- (5) 海外研修の引率者について審議および決定

平成27年6月23日(火) 17:10~18:20

- (1) 2016年度の年間予定について継続審議
- (2) 定期試験の不正防止のため、受験者数の規模に応じた監督配置について審議および決定
- (3) 海外研修の事前事後学修、単位認定について審議および決定
- (4) 共通教養科目の方向性について確認
- (5) 国際ロータリー第2600地区からの寄付講座の開設について審議および決定

平成27年7月21日(火) 16:50~18:15

- (1) 「地域課題研究」防災テーマクラスの担当者について審議および決定
- (2) 「海外事情」の松商短期大学部との単位互換について審議および決定
- (3) 第2体育館取り壊しに伴う授業運営について検討
- (4) 認証評価の第3サイクルに向けた以下の取り組みについて検討
  - ①カリキュラムマップ、カリキュラムツリーの作成
  - ②GPAの活用
  - ③FD活動
- (5) 学士入学生、他大学を中退した新入生の単位読替について確認および検討

平成27年9月29日(火) 16:50~18:10

- (1) 2016年度カリキュラムの確認
- (2) 兼任依頼について審議および決定
- (3) 2016年度年間予定について審議、教務委員会案を決定
- (4) 次年度オリエンテーションの時間割案について審議
- (5) 講義室に常設しているパソコンの必要性について検討
- (6) 出席管理、補講の徹底について確認

平成27年10月27日(火) 16:50~18:10

- (1) 2016年授業関連日程について各学部の意見に基づき継続審議

- (2) 次年度準備についてカリキュラム、担当教員等について確認
- (3) 転学部、転学科試験について確認
- (4) 認証評価の受審結果について検討
  - ①成績評価基準の明確化 観点別学修状況評価基準の検討
  - ②事前事後学修の確認 事前事後学修時間の確保の検討
  - ③公欠制度 教育課程内の活動に基づく欠席の扱いについて検討
  - ④クラスサイズの上限 アクティブラーニング等の充実に向けた検討

平成27年11月24日(火) 16:50~19:10

- (1) 2016年度の授業日程案について審議および教務委員会案の承認
- (2) 国際ロータリー第2600地区からの寄付講座について名称、時間、担当者を審議および決定
- (3) 教職課程の専任教員数に関する問題点について審議
- (4) 次年度時間割に関する調整方法の検討

平成27年12月24日(木) 10:00~11:20

- (1) 2016年度年間予定について学生委員会の意向を受け、再審議および決定
- (2) 次年度時間割について現状ならびに今後の調整について確認
- (3) 「生涯学習概論」の担当者について審議
- (4) 海外研修等の危機管理マニュアル策定について検討
- (5) 「認証評価調査結果報告書案」において成績評価基準について指摘されていることを受け、今後の方策について検討
- (6) 教職資格関係科目のシラバス入稿について確認

平成28年1月26日(火) 16:50~18:45

- (1) 2016年度学年歴について審議および承認
- (2) 自然災害等の休講について審議および教務委員会案の決定
- (3) 「海外研修」の単位認定について審議、学部により変更になることを確認
- (4) 教職に関わる科目ならびに専任教員数について確認

平成28年2月29日(月) 15:00~16:00

- (1) 2016年度学事予定について、短期大学部も含め全学的にそろえるために一部変更を決定
- (2) 2016年度入学生カリキュラム、教養科目について全学での共通化を図ることを確認
- (3) 2016年度時間割について確認

#### (b) 事業・活動

- (1) 経過措置内容の確実な実施
  - ①ナンバリングコード
  - ②シラバス改訂
- (2) 教学関連事項についての全学的な共通化
  - ①全学共通教養科目
  - ②海外研修の単位化
  - ③入学前修得単位の認定
  - ④修業年限を越えた留年生の履修科目ならびに学費
  - ⑤国際ロータリー第2600地区による寄付講座の科目化
- (3) 学修指導の徹底
  - ①オフィスアワーの活用
  - ②成績評価基準の明確化
  - ③学力の可視化
- (4) 認証評価対応
  - ①教学制度に関する内容についての点検、資料整理
  - ②課題の洗い出し

## (5) その他

- ①海外研修等の危機管理マニュアルの策定(上程)
- ②自然災害等における休講措置の申し合わせ自公の検討(上程)

**2) 共通教養センター運営部会**

共通教養科目の科目構成について、教養教育の充実、学生に対する分かり易い提示を目的として、「テーマ制」(ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを踏まえつつ、個々の科目を共通するテーマで括って表す)を導入することとし、二度の審議を経て、部会案をまとめた。これまでの共通教養科目を見直し、整理したうえで、教務委員会と連携して、新しい科目の設置を行った。

**(a) 部会開催**

平成27年5月18日(月) 16:50~18:40

## (1) 今年度の業務分掌について

今年度の業務は①共通教養科目の科目構成等の検討、②共通教養科目のシラバスチェック、③英語部会、体育部会、情報教育部会との連携、その他、教養教育実施のための検討・報告等の4点とした。

## (2) その他の検討事項について

担当者の退職による今後の科目担当について、教務委員会に検討を求める。

## (3) 共通教養科目の今後の方向性について

全学協議会で学長より提示され、本運営部会に提案された本学の共通教養科目の今後の方向性について審議された。次回部会において学長から直接上記についてお話しいただくこととした。

平成27年6月22日(月) 9:40~11:30

## (1) 共通教養科目の今後の方向性について

住吉学長より、全学協議会で例示された共通教養科目の今後の方向性について、概略以下のよう  
な説明および依頼がなされた。

- ①近年、文部科学省は教養教育に重きを置いている。これに加え、大学の理念、3ポリシーに基づいて、学生に何を身に付けさせるかが重要である。そのため、学生に身に付けて欲しい教養とは何なのか、本部会で検討してほしい。
- ②その際、学生から何を学んでいるのか分からないと言われないよう、個別の科目を共通するテーマで括って表す「テーマ制」の導入を念頭に、理念やDP・CPを踏まえたテーマ(設定)を考えてほしい。
- ③テーマ設定および科目配置は、来年度の大学案内および新学部の設置申請に間に合うよう、秋頃(遅くも11月)までには進めてほしい。

上記の説明を受け、審議の結果、今後テーマの設定を検討していくこととした。

## (2) 長崎大学の教養教育視察訪問報告

6/6(土)~8(月)、長崎大学の教養教育について視察訪問した等々力副学長、上條主事より報告がなされた。

## (3) 国際ロータリー第2600地区との教育連携講座(寄付講座)について

国際ロータリー第2600地区から打診されている本学への教育連携講座(寄付講座)について、経過報告がなされた。

平成27年7月20日(月) 9:40~11:05

## (1) 共通教養科目のテーマの設定について

部会長福島より共通教養科目のテーマについて2案が示され、審議の結果第2案をベースにテーマの名称や科目の配置について修正を行い、共通教養のディプロマポリシーとの関連性を踏まえて第2次案を作成し、次回部会で再提出することとなった。

## (2) 国際ロータリー2600地区との教育連携講座について

7月30日(木)16時より協定書調印式・記者会見が本学会議室にて行われる。

平成27年8月4日(火) 10:00~11:10

(1) 共通教養科目のテーマの設定について

部会長福島より共通教養科目のテーマ設定について第2次案が示され、審議の結果、テーマ設定については、表現を含め更なる検討を行うこととした。今後は、上述の検討事項を精査し、各学科の開講状況を本案に取りまとめた上で、各学部の教務委員会にカリキュラムに入れる科目の意向を伺うこととした。

(2) 国際ロータリー2600地区との教育連携講座調印について

### 3) キャリア教育センター運営部会

(a) 業務内容

本運営部会は、平成24年度に設置された部会であり、就職活動支援とキャリア教育の区別を明確化させ、大学共通教養科目としてキャリア教育関連共通科目を整備し、本学のキャリア教育の推進を図ることを業務としている。また、本部会は、各学部の特徴・独自性に対応して展開されるキャリア教育の共通部分、すなわち大学として提供すべきキャリア教育のあり方について検討し、この共通化されたキャリア教育を基礎として各学部が必要とする独自のキャリア教育の基盤を整備することも考慮している。

(b) 活動報告

本年度は、6月、11月の2回運営部会を開催した。

### 4) 資格取得支援センター運営部会

(a) 組織と会議

1) 組織

全学協議会担当 1名、代表 1名(短期大学部教員)、総合経営学部 教員2名、人間健康学部教員 2名、短期大学部教員 1名、事務局5名

2) 会議

資格取得支援センター運営部会 5/20(水)

合同会議(意見交換会) 5/27(水)、10/2(金)、11/30(月)

(b) 活動内容

1) 奨励金の見直し

平成27年度より奨励金支給金額の新しい制度を設けており、その新制度で実施を始めた最初の年度であった。そのため、平成27年度の奨励金の支給金額をとりまとめるとともに、前年度までと比較して、支給金額全体の変化や変化の大きい資格などを注意深く確認し、次年度に向けた奨励金の見直しの方向を決定した。平成28年度からの新しい奨励金の資格や金額は、新年度の最初の部会にて審議される予定である。

2) 公務員対策講座

①公務員対策講座の実施

前年度に検討し開講を予定していた公務員講座を計画通り実施した。平成27年度に実施した講座と新規受講者は以下の表のとおりである。

対象学年	講座	新規受講者
学部4年	実践演習講座(教養)	5名
	実践演習講座(専門)	開講せず(H29より)
学部3年	基礎講座(教養)	35名
	基礎講座(専門)	開講せず(H28より)
学部2年	プレ基礎講座(教養)	16名
	プレ基礎講座(専門)	7名
学部1年	基礎力養成講座	34名

短大2年	実践演習講座(教養)	2名(+18名(継続))
短大1年	プレ基礎講座(教養)	12名

## ② 公務員講座オリエンテーションの実施

公務員講座の開講に先立ち、在学生オリエンテーションの時間を利用して在学生へ簡単な説明を行った後、同日に参加自由の説明会を下記のように7回実施した。

3/25(水) 13:00~13:20	525教室	(想定:総経2年)	参加者14名
3/25(水) 15:10~15:30	525教室	(想定:総経3年)	参加者 3名
3/25(水) 15:50~16:10	525教室	(想定:総経4年)	参加者19名
3/26(木) 13:00~13:20	525教室	(想定:人間2年)	参加者15名
3/26(木) 15:10~15:30	525教室	(想定:人間3年)	参加者 3名
3/26(木) 16:00~16:20	525教室	(想定:人間4年)	参加者25名
3/27(金) 15:10~15:30	524教室	(想定:短大2年)	参加者 5名

また、新入生に関しては、入学後のオリエンテーション期間を利用して説明会を下記のとおり実施した。

4/3(金) 16:40~17:20	(想定:総経1年)	参加者40名
4/4(土) 12:40~13:00	(想定:人間1年)	参加者42名

(短大1年は、全体の教務委員会オリエンテーション時間内で説明を実施)

## ③ 模擬試験の実施

公務員講座の受講者以外も対象とした模擬試験を東京リーガルマインド(LEC)の協力のもと、無料で実施した。

4/25(土) 9:40~13:20	511教室
6/13(土) 9:40~16:00	533教室

## ④ 合同会議(意見交換会)の実施

昨年度、計画されていた、本部会だけではなく、基礎教育センター、キャリアセンター、学部公務員対策講義担当教員、東京リーガルマインド(LEC)を含めた関係者での合同会議を3回開催し、現在の講座や学生の問題点等を話し合い、次年度の講座の方針を決定した。

## 5) 基礎教育センター運営部会

### (a) 基礎教育センター組織

- ① センター運営委員長として人間健康学部スポーツ健康学科 齊藤茂専任講師が継続  
オブザーバーとしてエクステンション機構長の等々力賢治教授  
センターのメンバーは代表1名、オブザーバー1名、担当教員4名、事務担当1名、合計7名

### (b) 年間活動の概要

- 4月 センターツアーの受け入れ(総合経営学部新入生)  
「朝の学習講座」開始(基礎英語、SPI数学、基礎数学、社会、国語)  
短大部キャリアスタンダードI前期授業で「一般教養解説コース」授業(全15回)開始  
前期「10分間学習」実施、採点(全14回)および解説  
「一般教養基礎問題」開始 スポーツ健康学科1・2年生(後期まで全16回)  
「入学前学習用問題集」返却、「春期課題問題集」採点(学生アルバイト)
- 5月 「基礎教育センターだより」発行(年5回)  
短大部キャリアクリエイトⅢ「就職試験対策講座」(全5回)
- 6月 「春期課題問題集」返却  
人間健康学部3年「キャリアデザインⅡ」SPI試験解説(1回)
- 7月 「夏期課題問題集」作成・印刷・配布
- 9月 短大部キャリアスタンダードⅡでの一般教養対策講座開始 授業(全15回)開始

- 「夏期課題問題集」回収と採点開始 (学生アルバイト)  
 人間健康学部キャリアデザインI (道幸先生) における後期10分間学習実施と解説 (7回)  
 後期「10分間学習」実施と採点 (全14回) ならびに解説  
 総合経営学部3年「社会教養」の問題作成 (全13回分)  
 10月 スポーツ健康学科1年「大学入門」にて基礎教養学習 (英語・数学・国語・時事) 開始 (後期3回)  
 1月 「夏期課題問題集」返却  
     「入学前学習用問題集」・「春期課題問題集」の作成  
 2月 「入学前学習用問題集」・「春期課題問題集」の配布  
 3月 「入学前学習用問題集」採点、「春期課題問題集」回収

## (c) 学生の学習支援活動の内容

## ①キャリア連携対策講座

講座名	担当者	回数	対象
キャリア・スタンダードI (解説コース)	福嶋・日野谷・田野口・丸山	30	短期大学部1年生
キャリア・クリエイトⅢ	福嶋・日野谷・田野口・丸山	5	短期大学部2年生
キャリアデザインI	福嶋・田野口・丸山	7	人間健康学部2年生
キャリアデザインII	日野谷	1	人間健康学部3年生
キャリア・スタンダードII	福嶋・日野谷・田野口・丸山	30	短期大学部1年生
合計		73	

## ②基礎教養講座

講座名	担当者	回数	対象
大学入門 (計算力と文章表現)	日野谷・丸山	3	健康栄養学科1年生
大学入門 (基礎教養学習)	福嶋・日野谷・田野口・丸山	3	スポーツ健康学科1年生
合計		6	

## ③基礎学力維持のための「朝の学習講座」の開講

講座名	担当	回数	学部	短大	合計
朝の学習講座 (基礎数学)	日野谷	28	120	63	183
朝の学習講座 (SPI数学)	日野谷	27	120	129	249
朝の学習講座 (社会科入門前期)	福嶋	13	52	22	74
朝の学習講座 (時事問題後期)	福嶋	15	47	31	78
朝の学習講座 (基礎英語)	田野口	26	141	29	170
朝の学習講座 (ことばの力)	丸山	26	55	45	100
合計		135	535	319	854

## ④「10分間学習」の実施

学 科	学年	前期		合計
		No.01~No.14	後期 No.15~No.28	
短大部	1	1,798	2,152	3,950
短大部	2	409	68	477
総合経営学科	1	1,117	0	1,117
総合経営学科	3	190	22	212
総合経営学科	4	271	0	271
観光ホスピタリティ学科	1	1,195	0	1,195
健康栄養学科	1	1,112	0	1,112

健康栄養学科	2	0	424	424
健康栄養学科	3	241	123	364
スポーツ健康学科	1	1,183	0	1,183
スポーツ健康学科	2	0	648	648
合 計		7,516	3,437	10,953

## ⑤ 「一般教養基礎問題」の実施

学 科	学年	前期 No.01~No.11	後期 No.9~No.16	合計
スポーツ健康学科	1	1,085	507	1,592
スポーツ健康学科	2	687	470	1,157
合 計		1,772	977	2,749

## (d) 基礎学力向上のための対策

## ① 漢字検定・数学検定・ニュース検定受験者

検定名	担当	実施回数	受験者数	合格者数
実用数学技能検定	日野谷	1	6	3 (一次合格者 2名)
日本漢字能力検定	丸山	2	36	7
ニュース検定	福嶋	1	17	8

上記受験者の学習指導として随時対応。

## ② 新入生向け「入学前学習用問題集」の作成と配布・採点

学 科	配布対象者	人数	提出数	提出率
総合経営学科	一般Bまで	111	110	99.1
観光ホスピタリティ学科	〃	98	91	92.9
健康栄養学科	推薦入試まで	56	55	98.2
スポーツ健康学科	全員	103	99	96.1
短大部	全員	235	228	97.0
合 計		603	583	96.7

## ③ 在学生向け「春期課題問題集」の作成と配布・採点

学 科	学年	配布数	提出数	提出率
総合経営学科	1	86	34	39.5
観光ホスピタリティ学科	1	98	23	23.5
健康栄養学科	1	93	51	54.8
スポーツ健康学科	1	103	65	63.1
短期大学部 商学科	1	78	49	62.8
短期大学部 経営情報学科	1	102	61	59.8
合 計		560	283	50.5

全学部1年生全員配布。

## ④ 在学生向け「夏期課題問題集」の作成と配布・採点

学 科	学年	配布数	提出数	提出率
総合経営学科	1	87	45	51.7
観光ホスピタリティ学科	1	103	43	41.7
健康栄養学科	1	93	75	80.6
スポーツ健康学科	1	105	91	86.7
短期大学部 商学科	1	78	59	75.6

短期大学部 経営情報学科	1	103	78	75.7
合計		569	391	68.7

全学部1年生全員配布。

#### ⑤ 来室学生への質問対応、自習室としての利用

数学・国語・社会・英語などの質問への対応、自習などの利用者は延べ2,319名。

#### (e) 学生・教職員等への広報活動

- ① オリエンテーション・講義時間内での広報
- ② 「基礎教育センターだより」の定期的な発行（年5回）
- ③ 活動内容を松本大学のホームページに掲載
- ④ メソフィアのメールによる学生への連絡配信・センター前掲示板での広報・連絡

## (2) 教育改善推進委員会

教育改善推進委員会は、教育企画推進部会とFD・SD運営部会の2部会で運営されている。この委員会は、従来の教育企画推進委員会とFD・SD委員会を1つの委員会にまとめたものである。

教育企画推進部会は、「学科等組織を単位とするカリキュラムポリシーを実現するために必要な教育的企画を提案し、予算化し、実践すること」（平成23年度『自己点検・評価報告書』111頁参照）を目的とし、FD・SD運営部会は、本学における教育理念および教育目標の達成に向けての教育活動の質的向上を図るために活動している。両委員会のメンバーは教員7名、事務局2名で構成されている。

### 1) 教育企画推進部会部会

平成27年4月6日（月）

人間健康学部健康栄養学科より新たな事業「キャリア教育としての学習成果を測る業者テストの実施」の申請を受けて本事業の可否の会議を行った。1件のみの追加申請であったため、期限を4月10日（金）までとし、メール会議となった。本事業は承認された。

#### (a) 部会開催

平成27年12月18日（金）9：00～9：20

- ① 補正予算の検討を行った。
  - a 減額補正
    - ・ 事業の先送りにより、「先駆的实践者からソーシャルワーカーの姿勢を学ぶ」、「Tabletを用いた教育関連費用」の2事業は減額補正が承認された。
    - ・ COC事業に移管されたことにより、「学外講師による特別講義」、「一日限りのレストラン」の2事業は減額補正が承認された。
  - b 増額補正
    - 「キャリア教育としての学習成果を測る業者テストの実施」の増額補正を承認した。
- ② 平成28年度予算申請書の配布と締め切りの日程確認を行った。
- ③ 各学部・各学科内で周知を図り、積極的に平成28年度の申請を募ることが確認された。

平成28年1月26日（火）

以下の7件の申請についてメール会議を行った。2月10日（水）を締め切りとして審査・査定の意見集約を行い、7件とも申請通り承認された。

- 「道の駅と連携した経営創造教育、協働教育の推進」（総合経営学部）
- 「国内旅行取扱・総合旅行取扱・社会福祉士の資格取得強化策の取り組み」（総合経営学部）
- 「管理栄養士国家試験対策模試」（人間健康学部）
- 「ラジオ体操指導者講習会」（人間健康学部）
- 「講演会」（人間健康学部）
- 「アウトキャンパス・スタディ」（松商短期大学部）
- 「オリジナルテキスト」（松商短期大学部）



## 2) FD・SD運営部会

FD・SD運営部会は、前年までの活動を継続しつつ、より良い教育となるよう活動を見直しながら推進した。

### a) 委員会開催

- ・平成27年4月17日(金) 13:30~14:50

授業アンケート日程の決定、卒業生アンケート結果の修正依頼、学内研修会についての検討、FD・SD活動の進め方などについて議論した。特に、授業参観の実施や、部局単位でのFD・SD活動活発化を決定した。

- ・平成27年7月10日(金) 13:30~

7月23日(木)に「授業評価報告会」を開催すること、9月開催のFD研修会の内容を「ルーブリックによる成績評価」とし、高知大学の俣野秀典氏に打診することなどが決定された。また、6月中に実施された授業参観の参加状況が報告された。

- ・平成27年11月16日(月) 16:50~18:10

授業におけるAV機器利用状況等アンケート実施とその内容について、および授業アンケート項目追加について各教授会で意見聴取することを決定した。授業参観アンケート(参観実施報告書)の取り扱いについては継続審議となった。後期の授業参観日程について報告・確認した。

- ・平成28年2月18日(木) 15:10~

授業アンケートに学修到達目標達成状況について項目を追加すること、次年度研修会にアクティブ・ラーニングについて取り上げる必要性、授業参観実施率低下による教授会等での注意喚起、後期授業評価報告の実施について決定された。自己点検・評価報告書はメールを通じて審議することとした。

### b) 事業・活動

#### ①授業アンケート

通常の15回の授業中、6~9回目授業において中間アンケートを実施するよう依頼し、およそ13回目授業以降に「授業についての学生アンケート(授業アンケート)」を実施するよう依頼した。中間アンケートはすべての授業での実施が依頼された。内容は自由であるが、平成25年度に作成された雛形を任意で使用するよう配布した。授業アンケートは、専任教員においては2科目程度、および非常勤教員の全科目において実施した。アンケート項目は前年同様の6つであった。

アンケートのデータ集計後には、各授業担当者に「改善計画等」の記入を依頼した。同様に、①大学全体、②総合経営学部共通、③総合経営学科、④観光ホスピタリティ学科、⑤人間健康学部共通、⑥健康栄養学科、⑦スポーツ健康学科、⑧総合経営学部・人間健康学部共通、⑨松商短期大学の区分別集合データについて、それぞれ、①学長、②総合経営学部長、③総合経営学科長、④観光ホスピタリティ学科長、⑤人間健康学部長、⑥健康栄養学科長、⑦スポーツ健康学科長、⑧全学教務委員長、⑨松商短期大学部長に「改善計画等」の記入を依頼した。以上の内容について点検および校正の後、「授業についての学生アンケート集計報告書~分かりやすい授業を目指して~」の松本大学版、および松本大学松商短期大学版を発行した。

なお、後期の授業アンケート結果の集合データをもとに、区分別データの経年変化、履修人数別比較、および区分別の比較について教授会で報告した。それを参考データの一つとして、改善計画等について記入を依頼した。

#### ②授業参観

全15回の授業の中、前期においてはおよそ9~11回目の授業である6月8日(月)~19日(金)、後期においてはおよそ8~10回目の授業である11月23日(月)~12月4日(金)を授業参観期間として専任教員および非常勤教員に通知した。特に専任教員には1科目以上の授業を参観すること、および「授業参観アンケート用紙」に参考になった点などを記入し、提出することを依頼した。

前期においては全専任教員74人(嘱託専任教員を含む)中、50人から「授業参観アンケート用紙」が提出された。なお、2名の非常勤教員からも提出があった。後期においては全専任教員73名(嘱託専任教員を含む)中、32人から用紙が提出された。なお、1名の助手からも提出があった。

## ③卒業生等へのアンケート

各学部の「卒業者アンケート」および松商短期大学の「在学生アンケート」について、一部質問項目を見直し、後期末のオリエンテーションで実施した。集計し、個人名の秘匿などチェックの後、自己点検・評価報告書に掲載される。

また、前年平成26年度実施のアンケート結果をもとに、各部署等でFD・SD活動として内容の検討を行うよう依頼し、教育活動や学校運営業務の改善についてディスカッションを実施した。

## ④FD・SD研修会

7月23日(木)に平成26年度後期の「授業についての学生アンケート」のデータおよび過去のデータをもとに「授業評価報告会」を実施した。FD・SD運営部会から、区分別データの経年変化、当該期の区分別比較、および履修人数別比較などを報告し、全体での意見交換や各学部学科でのディスカッションを実施した。参加教員は44人であった。

9月14日(月)に「ループリック評価スタートアップ～評価の原則から組織での活用まで～」を開催した。講師は高知大学の俣野秀典氏であった。講義とワークショップの両方の形式で分かりやすく実施していただいた。参加者は、専任教員37人、職員12人、学外者19人であった。

## (3) 教職センター運営委員会

## (a) 平成27年度履修状況

学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
総合経営学部	総合経営学科	2	2	6	6	16
	観光ホスピタリティ学科	8	6	2	5	21
人間健康学部	スポーツ健康学科	30	40	37	23	130
	健康栄養学科	15	4	6	10	35
合計		55	52	51	44	202

(平成27年12月31日現在)

## (b) 会議開催

教職センター専任会議	12回	4/1	5/13	6/3	7/1	8/5	9/9	10/7	11/4
		12/2	1/13	2/3	3/3				
教職センター運営委員会	3回	5/20	11/6	1/22					
教職科目担当代表者会議	1回	7/1							
教育実習連絡会議	3回	5/7	12/9	3/16					
小学校教諭2種免許状取得支援プログラム会議	1回	7/3							
教員採用受験指導センター運営部会	2回	5/20	7/24						
教員免許状更新講習準備委員会	3回	10/7	12/2	12/16					
教員免許状更新講習運営部会	1回	4/22							

## (c) 出版

『教育時事・資料集』の発行

松本大学教職センター 2015.7.1

『松本大学教職センター 授業実践報告シリーズ12』の発行

隈矢野 達彦、小松 茂美著 松本大学教職センター 2016.2.29

## (e) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

平成27年5月30日～31日 全国私立大学教職課程研究連絡協議会

於 仙台市民会館 藤枝准教授・田嶋主事参加

平成27年5月9日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会

於 創価大学 川島教授参加

平成27年12月19日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第2回研究懇話会

於 日本女子大学目白キャンパス 新泉山館1階大会議室 川島教授参加

## (f) 教員免許状更新講習

## 【選択領域講習】

- 6月6日 「体質に関わる遺伝型解析実験」 講師：山田、高木  
 6月7日 「身体組成（筋肉・骨）を知る」 講師：呉  
 6月13日 「マーケティング実践講座」（閉講） 講師：金子、清水  
 6月27日 「消費者保護の法律問題」 講師：増尾  
 6月28日 「経済のグローバル化と日本社会の変容」 講師：糸井  
 7月4日 「地球環境とエネルギー問題」 講師：住吉  
 7月5日 「生命倫理学入門」 講師：福島  
 7月25日 「ミクロの世界をのぞくー細胞を見る」 講師：江原  
 8月1日 「栄養教育・給食管理・栄養調査に活かす食事摂取基準と食品成分表」 講師：廣田  
 8月23日 「現代社会とスポーツ」 講師：等々力  
 8月30日 「小学生用の環境を使ったプログラミング入門」 講師：室谷  
 9月5日 「美味しさの調理学」 講師：石原  
 9月20日 「結婚と結婚式 その変遷と現状」 講師：小澤  
 9月26日 「こどものこころとからだの健康」 講師：矢崎、中島（節）  
 10月3日 「国際観光とホスピタリティ」 講師：益山  
 10月31日 「良好な人間関係を築くために～コミュニケーションのズレに気づく～」 講師：犬飼  
 11月1日 「ベースボール型の授業づくり」 講師：岩間  
 11月22日 「社会福祉を取り巻く動向」 講師：尻無浜、佐藤、八田（非常勤）  
 11月29日 「中学校用の『インターラクティブ』英語学習ー理解と実践例」  
 講師：カルース フレデリック（非常勤）、ペーター・ヴァンデンベルグ（非常勤）

## 【必修領域講習】

- 8月3日・4日 「教育の最新事情」 担当：川島（一）、藤枝、征矢野、小松、鈴木（非常勤）

## (g) 教職専門職への就職実績

- 総合経営学部 2名（うち教員採用試験合格1名）  
 人間健康学部 10名  
 教育系大学院進学 4名

## (h) 平成27年度 教職センター活動日誌（抜粋）

- 4月1日 教職センター専任会議を開催  
 4月9日 3年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」・「教育実習ガイダンス」、  
 4月9日 4年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」・「教育実習ガイダンス」  
 4月10日 2年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」  
 4月15日 教職課程ボランティア関係科目ガイダンス  
 4月22日 教員免許状更新講習運営部会  
 4月25日 梓友会の開催 於：松本大学512教室  
 4月29日 教員免許状更新講習の講師への説明会  
 5月7日 教育実習連絡会議を開催  
 5月11日～ 4年生、教育実習開始  
 5月13日 教職センター専任会議を開催  
 5月20日 教職センター運営委員会を開催  
 5月20日 教員採用受験指導センター運営部会  
 6月3日 教職センター専任会議を開催  
 6月15日・22日 「地域社会と大学教育」人間健康学部において教職課程の説明  
 6月11日・18日 「地域社会と大学教育」総合経営学部において教職課程の説明  
 6月19日 「教職論」外部講師による授業

- 6月22日～7月3日 1年生教職課程履修の受付期間
- 7月1日 教職センター専任会議を開催
- 7月1日 教職科目担当代表者会議
- 7月2日 教員採用一次試験対策集団面接練習
- 7月3日 小学校教諭二種免許状取得支援プログラム会議
- 7月12日・13日 長野県教員採用選考第1次選考
- 7月24日 教員採用受験指導センター運営部会
- 7月26日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会に参加
- 8月5日 教職センター専任会議を開催
- 9月9日 教職センター専任会議を開催
- 9月9日 キャリアセンターとの打ち合わせ
- 9月24日 教職実践演習ガイダンス実施
- 9月12日・17日・19日 個人面接・模擬授業の練習教員採用二次試験に向け面接・論文の練習
- 10月7日 教職センター専任会議を開催
- 10月7日 教員免許状更新講習準備委員会を開催
- 10月8日 教育実践特講ガイダンス
- 11月4日 教職センター専任会議を開催
- 11月7日 「教育実践特講」の授業で長野県道德教育学会公開授業を参観
- 11月7日 全国私立大学教職課程研究連絡協議会の出席
- 11月6日 教職センター運営委員会
- 11月6日 「教育実践特講」の授業で柳原小学校・山陽中学校を授業参観
- 11月12日 「教育実践特講」の授業で松本蟻ヶ崎高等学校を授業参観
- 11月5日 平成27年度実習報告会第1回
- 11月12日 平成27年度実習報告会第2回
- 11月19日 平成27年度実習報告会第3回
- 12月2日 教職センター専任会議を開催
- 12月2日 教員免許状更新講習準備委員会を開催
- 12月3日 「教職実践演習」外部講師による授業
- 12月9日 教育実習連絡会議を開催
- 12月15日 平成28年度教員免許更新講習開設計画書提出締切
- 12月16日 教員免許状更新講習準備委員会を開催
- 12月16日・17日 2年生対象教職課程オリエンテーションを実施
- 12月19日 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会第2回研究懇話会（於日本女子大学）に参加
- 1月12日 小学校二種免許状取得支援プログラム履修ガイダンスを開催（明星大学から来学）
- 1月13日 教職センター専任会議を開催
- 1月22日 教職センター運営委員会を開催
- 1月30日 梓友会の開催於：松本大学
- 2月3日 教職センター専任会議を開催
- 2月4日・5日 教育実践特講集中講義
- 2月8日 龍谷大学へ課程認定実施視察のための視察
- 2月3日 教職センター専任会議を開催
- 3月16日 教育実習連絡会議を開催
- 3月17日 平成28年度教育実習履修許可者掲示

#### (4) 図書館運営委員会

「学内で図書館を活かすために教学部門との連携が必要」という観点から、教務委員を兼任する委員が1名加わった。

夏休み用の図書推薦は、全学部の委員が協力し、今までになく全学的な取り組みになった。

##### (a) 組織

館長1名 総合経営学部 教員2名 人間健康学部・健康科学研究科 教員2名  
短期大学部 教員2名(兼館長)、事務局4名

##### (b) 委員会開催

平成27年4月15日(水) 13:30~15:00

- (1) 平成27年度の図書館の活動方針と年間計画を審議した。
- (2) 図書の盗難と思われる事例について報告を受け、今後の対処方法を検討した。

平成27年5月27日(水) 13:30~15:00

- (1) 「自己点検評価2014(案)」の内容および文言について、最終的な検討を行った。
- (2) 今年度のデータベース講習会の計画について検討した。
- (3) 学科別学生用図書の選定依頼の文書の内容および文言について、最終的な検討を行った。
- (4) 夏休み用図書推薦の企画について、内容を検討した。

平成27年6月30日(火) 8:30~9:30

- (1) 電子書籍(英語の多読用図書)の導入を審議した。
- (2) 新聞活用の企画を実施することの是非について審議した。

平成27年7月28日(火) 15:10~16:20

- (1) 新聞活用の企画の内容について審議した。
- (2) 夏休み用図書推薦の企画をふりかえり、今後の改善点を話し合った。
- (3) 次年度の講読雑誌を検討するための手順を話し合った。
- (4) 学外者用の入館ゲート作成(ゲストカード)の是非について検討した。

平成27年10月6日(火) 9:40~11:10

- (1) 次年度購読する洋雑誌について検討した(継続)。
- (2) 読書月間の計画を審議した。
- (3) 学外利用者用ゲストカードの運用の決まりの内容を検討した。

平成27年10月27日(火) 9:00~9:50

- (1) 次年度購読する洋雑誌について、アンケートをもとに見直しを行った。
- (2) 前回の委員会の意見が反映された読書月間の計画について再度審議した。

平成27年11月24日(火) 9:40~11:00

- (1) ゲストカード運用規程の内容・文言を審議した。
- (2) 読書月間の中間報告を受け、残りの計画について審議した。

平成27年12月15日(火) 9:40~11:00

- (1) 次年度に購読する和雑誌・データベースについて、アンケートをもとに見直しを行った。
- (2) 2016年度以降の図書館運営の在り方について疑問点や懸念する意見が多数出された。

平成28年1月19日(火) 9:40~11:00

- (1) 次年度に購読する和雑誌・データベースについて、前回から引き続き見直しを行った。
- (2) 次年度の計画および予算案を審議した。

平成28年3月10日(木) 9:40~11:10

- (1) 2015年度自己点検評価(案)を審議した。
- (2) 在学生オリエンテーションの担当を決めた。
- (3) 転出者が科研費で購入した図書を転出先に持っていく際の借用書について、内容を審議した。
- (4) 次年度の業務体制について、柴田事務局長から話を聞いた。

平成28年3月29日(火) 13:30~15:00

(1) 「松本大学図書館 受託業務仕様書」について、全委員で読み合わせを行った。

(2) 「2015年度 自己点検評価(案)」の内容および文言を確認した。

### (c) 事業・活動内容

(1) 図書館運営・サービスの方針および計画の審議

(2) 図書館利用の促進

(3) 学科別図書の選定、および取りまとめ

(4) 「松大生夏の100冊」企画の推進

(5) 雑誌・データベースの講読・契約に関する審議

(6) 在学生オリエンテーション実施

3月23日(水) 総合経営学部(新2～4年生):山根、前島(司書)

3月24日(木) 人間健康学部(新2～4年生):江原、前島(司書)

3月25日(金) 短期大学部(新2年生):篠原

(7) 安全点検 職員とペアになって館内外を点検した。4回実施。

### (d) 図書館サービス・図書館利用促進業務内容

#### 1) 27年度利用実績

4月1日(水)～:図書館開館

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
271日	88,348人	4,230人	8,347冊	2,111人

#### 2) 図書館オリエンテーション・ガイダンス

7月28日(火)・29日(水):松商短期大学部後期図書館オリエンテーション

3月23日(水):総合経営学部在学生進級図書館オリエンテーション

3月24日(木):人間健康学部在学生進級図書館オリエンテーション

3月25日(金):松商短期大学部在学生進級図書館オリエンテーション

#### ゼミナール別図書館ガイダンス

4/14総経1年(上野・小林(俊)・兼村・葛西)、4/21観光1年(益山・八木・向井・大石・中澤)、6/10スポーツ1年(中島(節))、6/12栄養1年(「大学入門」の1コマ)

7/1スポーツ1年(中島(弘))、7/1短大1年(オリバー)、7/15スポーツ1年(根本)

#### 3) 通常開館

開館9:00 閉館20:30(土曜日17:00)

長期休業中の閉館は19:00(土曜日17:00)

#### 4) データベース利用

8月5日(水):医中誌Webデータベース講習会 参加者31名(図書館職員5名含む)

27年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

①eol有価証券報告書、②信濃毎日新聞社記事検索、③国立情報学研究所データベース ④日経テレコン21、⑤JDreamⅢ、⑥法律判例文献情報、⑦医中誌web、⑧Eジャーナル(10タイトル、1パッケージ)

#### 5) 学外者利用サービス提供

図書館開館中は、学外者にも図書館サービス(貸出、有料データベース利用以外のすべてのサービス)を行っている。27年度利用者は延べ268人であった。

#### 6) 図書の充実・整理

27年度受入図書数

図 書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和:2,762	洋: 204	0	6	91	3
全:2,966					

和雑誌	洋雑誌
641	40

## 7) 蔵書点検

3/1(火)～3/3(木)

2015年度点検対象資料:図書館配架の和書のみ、洋書・研究図書・書庫は未実施

## 8) 学生利用促進企画

- ①短期大学部教務委員会が行っている2015年度短期大学部入学予定者を対象とした「4月までの準備学習のススメ」の課題提出者に、読書スタンプラリー用のポイントカードを配布(1つ印済み)。リストはサイバーキャンパスにアップ。
- ②新入生オリエンテーション:4月3日(金)(人間健康学部・総合経営学部)  
図書館の時間がいないため、学部については教務委員会、学生委員会の時間に図書館案内の動画を流してもらった。
- ③県内7短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」本展示  
県内7短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介。  
第19号～第22号(年4回の発行)。春にはヨムゾー目隠し本、秋には第3回ヨムゾー大賞を行った。
- ④グループ学習室利用:学生利用24回(学習やサークル)、ゼミや講義等22回
- ⑤昨年度に引き続き、読書スタンプラリー実施(参加人数12人、レポート数246枚)  
読書月間時に提出レポートの掲示を行った。
- ⑥読書月間:11月2日(月)～11月30日(月)
  - ・教職員による本の紹介
  - ・まわし読み新聞(キャリアセンター共催):信濃毎日新聞社植田さんに協力していただいてワークショップを行った。参加者がグループに分かれて切り抜いた新聞を紹介し合い、その記事を集めて1つの壁新聞にするというもの。壁新聞は7号館コモンルームに展示した。
  - ・ブックカフェ
  - ・企画展示:郷土が舞台の小説・マンガの展示、郷土出身の偉人たちの展示、ともだちに関する本の展示、多文化関係の本の展示
  - ・読書スタンプラリー提出レポートの掲示
  - ・雑誌バックナンバー、付録のプレゼント
  - ・第3回ヨムゾー大賞:県内7つの大学・短大の共同企画。隣は何を読む人ぞう第17号～第20号で紹介された中から1冊を選んで投票する。
  - ・篠原ゼミ協賛展示:青空文庫で本をつくる
  - ・学内テレビ放送で紹介:月間中のイベントのお知らせや教職員の本の紹介を放送
- ⑦卒論関係
  - ・卒業論文用図書貸出のお知らせを掲示  
申請者15名(学部:岩間ゼミ2名・等々力ゼミ・沖嶋ゼミ・矢内ゼミ・成ゼミ・兼村ゼミ山根ゼミ各1名/短大:藤波ゼミ・香取ゼミ・小澤ゼミ各1名・オリバーゼミ・中山ゼミ各2名)図書39冊貸出
- ⑧学生の読書欲を刺激する目的で文庫本を選書・購入
- ⑨昨年に引き続き、映画・ドラマの原作本を購入。映画の原作本は大学周辺の映画館で公開されているものに限り購入。随時更新する。
- ⑩本の展示  
新入生向け展示、ヨムゾー目隠し本、学市学座の展示、わたしのおすすめ3冊本～図書館職員篇～、国会図書館ってどんどこ、選挙特集展示&18歳検定、直木賞&芥川賞受賞作、ハロウィン、フードアクション・ニッポン・アワード、クリスマスコーナー、お正月展示、ひな祭り展示、就活全力応援、新生活はじめよう 等
- ⑪ブクログ(Web上で見られる本棚。本の表紙画像や紹介文を掲載できる)に本の紹介文アップ(わた

しのおすすめの3冊、松大生☆夏の100冊、読書月間時の教職員の紹介する本、司書科目受講生の紹介する本)

⑫松大生☆夏の100冊

夏休み用読書案内の企画。各学科20冊ずつ紹介していただき、顔写真入りのPOPで紹介をした。いろいろな分野の本が集まり充実した展示になったが、展示開始が夏休み直前になってしまい、あまり貸出には結びつかなかった。

⑬短大後期オリエンテーションにて読書案内を実施(7/28、7/29)。図書館だより、短大分松大生夏の100冊リストを配布。

⑭多読書コーナー整備

1階に配架していたリーダーを2階の専用書架にレベル毎に配架した。レベルがすぐにわかるよう、テプラで色分けをした。

⑮12月下旬より、ひざかけ・荷物入れ用かごの貸出開始

⑯データベーストライアル実施:12月中旬~2月初旬

法律判例文献情報、ジャパンナレッジLib

9) 図書館広報関係発行物

「図書館利用案内2016」

「図書館だより」No.42~44(学生向け)

「図書館要覧2015年度版」

「ニュースレター(館長だより)」No.3~10(教職員向け)

10) 巡回図書受け入れ

6月16日(火):笠原書店・明石書店

11) 信州共同リポジトリ

・松本大学研究紀要:13号アップ

27年度の閲覧回数:4,338回、論文等のダウンロード数31,081回

(e) 資料・設備等の整備・管理業務

1) 資料の整備

①進路に関するコーナー

昨年度に引き続き、キャリアセンターと同じ資料を購入。2014年度末から2015年度始めに登録、配架。補助金によるブラウジングコーナーの新書架設置に伴い、就職に関する本を1階から移動させた。2015年度末から2016年度始めにかけて登録、配架。

②1階集密書架雑誌架の配架場所変更

今まで洋雑誌は分野ごとに配架していたが、アルファベット順に配架するようにした。

③リサイクル図書市:2回実施 6月10日(水)~19日(金)・7月21日(火)~31日(金)

昨年度専門分野の先生に協力を仰いで図書館に残す図書を選定していただいた。不用と選定された本の除籍処理後、ブックトラックに置いて自由に持っていけるようにした。図書館内で実施後、COMMONルームにも短期間置かせていただいた。

④国立国会図書館デジタル化送信サービス開始

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を図書館内で利用できるサービス。複写申込みは学生1名(1件)・教員3名(9件)あり。

⑤レポート課題調査

前期と後期に1回ずつ、教員と非常勤講師に調査を依頼。返答のあった教員に対し、図書購入や関係図書を集めてコーナーを設置し対応。

⑥電子書籍導入

図書館HPにリンクを貼り、利用できるよう設定。

2) 設備の新設・更新

①平成27年度文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備事業」による補助金で什器の入れ替え。



ブラウジングコーナーの書架、テーブルとイス、新聞架、ソファーを入れ替え、プリンター1台導入。

- ②多読書書架1台、DVD架1台、レファレンスブック書架1台、展示棚1台増設
- ③iPadを6台購入、次年度6月より運用開始予定
- ④館内サインの見直しの一環として、書架番号を付けた。

### 3) 安全点検

運営委員会委員と図書館スタッフとで、図書館内外の安全点検を行った。

6/18、10/8、11/9、3/29

### (f) 教職員サポート業務

#### 1) 図書購入・図書費の管理

27年度研究図書費実績

単位(円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
短大	商学	117,325	495,184
	経情	71,482	238,291
総合経営	総経	511,914	982,357
	観光	418,490	1,065,242
人間健康	栄養	258,735	466,362
	スポーツ	246,366	546,808
	研究科	68,772	226,264
合計			5,713,592
職員図書費			71,787

#### 2) 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献依頼	相互貸借	紹介状発行
190	10	0

#### 3) 司書科目授業協力

①2月4日(木)～3月22日(火) 司書科目「図書館基礎特論」の授業で図書館実習への協力。

19人対応。1人～6人の組に4回ずつの講習と5回ずつの実習指導を行う。3月24日(木)・30日(水)の実習発表会に参加。

### (g) 総務的業務・他機関との連携

#### 1) 調査等への回答

5月18日(月)：日本図書館協会・図書館調査票提出

11月18日(水)：平成26年度学術情報基盤実態調査提出

12月7日(月)：朝日新聞出版社「大学ランキングアンケート」(Web)

#### 2) 規程類整備

・「松本大学図書館ゲストカード運用規程」を策定した。平成28年4月1日から施行。

・「松本大学図書館情報機器利用規程」を策定した。平成28年4月1日から施行。

### (h) 職員研修

#### 1) 学外研修

8月21日(金)：「情報館」短期集中セミナー 松島出席 東京(日比谷図書文化館)

8月29日(金)：第76回私立大学図書館協会総会・研究大会

図書館長出席 横浜(明治学院大学横浜キャンパス)

- 10月3日(土):長野県図書館協会大学専門図書館部会・図書館研究会  
図書館長出席 長野市(県立長野図書館)
- 10月9日(水):大学マネジメント研究会 第4回「新しい学びと進化する図書館」探訪  
図書館長出席 秋田(秋田国際教養大学)
- 10月15日(水):医中誌Web管理者向け講習会  
神田出席 名古屋(愛知医科大学)
- 3月22日(火):長野県図書館協会大学専門部会 研究会  
図書館長、神田、松島出席 長野市(県立長野図書館)

(i) その他

- 「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力  
中学校職場体験学習:8月27日(木)~28日(金) 梓川中学校2年生2名  
11月17日(火)~18日(水) 筑摩野中学校2年生1名

## (5) 情報センター運営委員会

(a) 委員会開催

平成27年5月13日(水) 13:30~14:20

(1) 2015年度事業計画について審議した

(2) 無線環境の構築について審議した

①4号館3階の無線環境の構築について

総合経営学部1年生に貸与したノートPC100台の利用が始まり、ゼミや研究活動のため、講義棟だけでなく研究室および前室でも利用したいとの要望があり、審議の結果、学生の利便性が高まると判断できるので、実施することが承認された。アクセスポイントを12箇所新規に設置する。

②PC教室(7室)の無線環境構築について

現在、パソコン教室には無線環境が整備されていない。H26年度の補助金でタブレットPC100台を準備しており、高大連携や長野県シニア大学の受け入れなど、今後、PC教室でのタブレット端末を使用した講義が増加することが予想されるため、無線環境の整備が必要となっている。このことについて審議を行った結果、整備することとした。

(3) 5号館講義室PC交換について審議した

当初の計画では、5号館全講義室の視聴覚設備の入替にあわせ、教卓に備え付けのPCを入替る予定としていたが、視聴覚設備の入替が5号館1・2階のみと縮小されたことおよび上記①、②の計画の実施に予算を配分したいため、PC入替対象の講義室を縮小したい旨事務局より説明がなされ、審議の結果、承認された。

(4) 学生データ保存領域の変更について審議した

現在、学生が使用するデータの保存先は、MATSU-NETドメインでログインするSドライブを利用しているが、学内だけでなく、学外でもアクセスできるマイクロソフトOffice365の保存領域に変更したい旨事務局より説明があり、審議の結果、承認された。移行は一定期間の平行稼動を経て実施する。

(5) サーバのデータセンターへの移行について

情報センターに設置する各種サーバを、キッセイコムテック株式会社が所有するデータセンターへ移動する(H26年度からの継続事業)。

(6) 基幹ハブの交換について

4号館1階および6号館1階を最優先にハブの交換を行う。現在、調査が終わりメーカーにて機器の設定作業中。

(7) パソコン教室機材更新について

本年度、311、312PC教室の機材を入替予定。現在、システムの検討中。

(8) IO-GATEプリンター更新につて

交換時期は9月上旬、プリンターを1台追加し、学生が持ち込んだノートPCからも印刷できる新機能を追加する予定。

(9) 教職員PC交換について

本年度の対象者は25名。

(10) フロアPC交換について

XP機器を優先的に交換する。教職員入替PCを再設定（保存メディアをSSDに交換）し追加配備する。

(11) 貸し出しノートPCについて

情報センターおよび6号館1階で貸し出しているPCを追加整備する。6号館1階に整備するノートPCの一部には、栄養君、SPSSを搭載する。

(12) セキュリティー対策について

ウィルス対策ソフトを学外でも保護下となるソフトに変更する。対象は本学所有のデスクトップPCおよびノートPC。

(13) 既存ソフトのカスタマイズについて

券売機システムのカスタマイズを行う（Mathfiaとの連携機能強化）。

平成27年7月15日（水）13:30～15:00

(1) サーバのデータセンターへの移行について

不備があった場合でも、比較的業務に支障が出ないサーバから、データセンターへの移行を進めている。現在、移行したサーバは下記のとおり。

- ①ZAISEKI（8月の予定） ②MGJCSRV2 ③MGJCSRV3 ④DNS ⑤MAIL ⑥OPAC  
⑦NTLIB ⑧TREND2 ⑨MGJCSRV7

(2) 基幹ハブの交換について

6月28日、7月5日の両日で、6号館1F～4FのHUBの交換を実施した。4号館1F～3FのHUBについては、7月5日に調査が終了し、8月9日に入替を実施する。

(3) パソコン教室機材更新について

本年度、8月下旬から9月上旬にかけて、311および312PC教室の機材入替を実施する。

(4) IO-GATEプリンター更新について

既存のIO-GAETが、導入から8年が経過し老朽化が進んだため入替を実施する。入替に当たって、4号館3Fへのプリンターの増設および学生が持ち込むノートPCからの出力機能を追加する。12月より稼働予定。

(5) 教職員PC交換について

本年度、入替の対象となる教職員は25名。10月以降順次作業を行う予定。

(6) フロアPC交換について

311・312PC教室の機材入替で搬出されるPCを利用し、HDからSSDに変換し順次配置する。SSDへの変換については、実証実験を行い決定する。

(7) 貸し出しノートPCについて

健康栄養学科向けの貸し出しノートPC14台の入替を行う。同時に栄養君のバージョンアップも実施する。

(8) セキュリティー対策について

本学が所有する全てのノートPCに、トレンドマイクロ社のウィルスバスターを設定する。

平成28年3月3日（木）15:10～16:40

(1) 平成28年度予算について

平成28年度の予算について審議を行った。

(2) Office2013の導入について

パソコン教室で利用するOfficeのバージョンを2013にすることが承認された。

(3) サーバのデータセンターへの移行について

情報センターに設置する各種サーバを、キッセイコムテック株式会社が所有するデータセンターへ移

行したことが報告された。

(4) IO-GATEプリンター更新について

4号館3Fへのプリンターの増設および学生が持ち込むノートPCからの出力機能を追加したことが報告された。

(5) 教職員PC交換について

本年度、予定していたPC交換で教職員の25名分を実施したことが報告された。

(b) 長野県が主催するシニア大学への協力

平成27年9月8日～9月9日

松本大学にてシニア大学を実施した。エクセルの使い方、パソコンによる写真の加工の実習を行った。

(c) 部会事業・活動

- (1) 各種サーバ類の管理運用業務
- (2) コンピュータ教室のソフトウェアの更新
- (3) 学内のコンピュータや通信機器のメンテナンス業務
- (4) 学内におけるネットワークやコンピュータに関するトラブルやお困り事に関する相談と対応
- (5) 各種検定試験の申し込み受付業務
- (6) 学内で実施する検定試験の試験監督業務

## (6) 国際交流センター運営委員会

### (a) 業務内容

国際交流センターの業務は、留学等の派遣や受入を支援する事務的業務と学内の国際化に資する業務の2面性がある。また、学生交流に加えて、教育や研究など教員交流についても支援する業務を行っている。今年度は、学生交流と教員交流、さらには行政からの受入等の面で活発な交流が行われた。

今年度は、交換留学で1名の学生が韓国東新大学に半年間留学した。また、短期プログラムの海外研修に参加した学生は17名（オーストラリア、韓国、中国）で、5名の学生が約1ヶ月の海外語学研修（米国、ドイツ、韓国）に参加した。その結果、20名を超える学生が海外で学修する機会を得た。他方、交換留学で韓国の東新大学から3名の学生が本学で学び、嶺南師範学院と東新大学の学生13名が、本学の「短期日本語プログラム」（夏と冬の2回実施）に参加した。

教員交流の面では、嶺南師範学院で本学の教員が授業を担当し、短期大学部の科目を嶺南師範学院と東新大学の教員が担当するなど、日中韓の教員交流も積極的に行われた。また、短大部の次年度の対応の準備として、米国、ドイツ、英国の大学等との意見交換と視察が行われた。

### (b) 活動報告

2015年 国際交流関係事業

- 4月1日 留学生対象新入生オリエンテーション 3名
- 4月7日 マレーシア私立大学関係者（HolidayClub 橋富氏）との情報交換
- 4月8日 留学生顔合わせ会（糸井センター長、留学生、交換留学生、外国籍生徒、国際交流センター 計13名参加）
- 4月21日 ニューカッスル大学研修旅行説明会 22名
- 4月22日 オーストラリア大使館主催 日豪教育連携フォーラム（オーストラリア大使館：関澤）
- 4月23日 マレーシア KBU International College Mr. Lester Lee 来学
- 4月24日 嶺南師範学院 海外ユースキャンプ説明会 4名
- 5月1日 留学生歓迎お花見（国際交流クラブ主催 図書館前広場でのバーベキュー）
- 5月8日 人間健康学部健康栄養学部 女子学生より卒業後の語学研修、インターンシップ等について相談
- 5月10日 ロータリークラブ米山奨学金総会（松本市駅前会館：田中）
- 5月11日 海外派遣・研修における危機管理セミナー（東京工業大学：関澤）
- 5月15日 第1回国際交流センター運営委員会（全学）

- 海外研修単位認定申請について、その他
- 5月15日 松本留学生応援ファミリーの会総会（関澤）
  - 5月20日 韓国交換留学生相談
  - 5月21日 メルビル大学関係者懇談、松本市打ち合わせ  
（嶋崎氏、村瀬氏、小森氏、糸井センター長、関澤）
  - 5月24日 韓国交換留学生事故対応（柳大英君）
  - 5月26日 韓国交換留学生通院付き添い（柳大英君）
  - 5月28日 松本市国際交流スピーチコンテスト実行委員会（関澤）
  - 6月3日 嶺南師範学院派遣航空チケット（HIS）手続き  
交換留学生アパートエアコン設置業者下見
  - 6月4日 メルビル大学語学研修オリエンテーション。留学研修者との情報交換  
（武田梨那さん、近藤壮太さん、関澤）  
交換留学生アパート扇風機設置
  - 6月12日 済州大学短期韓国語・韓国文化研修プログラム募集締切り  
短期大学 男子学生1名が応募
  - 6月18日 嶺南師範学院オリエンテーション（糸井センター長、田中、関澤）  
旅行会社、保険会社からも説明
  - 6月22日 カナダ・オーストラリア留学相談（4年生学生、関澤）
  - 6月26日 第2回国際交流センター運営委員会（全学）
  - 6月30日 嶺南師範学院サマープログラム出発  
～7月11日までの予定であったが、台風による飛行機欠航のため7月13日に帰国
  - 7月9日 済州大学短期プログラム参加者オリエンテーション（昨年参加下條まりのさん、今年 参加  
唐澤健輔君）
  - 7月10日 済州大学交換留学相談
  - 7月11日 軍縮・平和・国際交流に関わる留学生スピーチコンテスト  
アルズグリさん 審査員特別賞受賞
  - 7月14日 大学グローバル化シンポジウム（立教大学：関澤）
  - 7月17日 第3回国際交流センター運営委員会
  - 7月22日 留学生授業料減免希望者面接
  - 7月26日～8月9日 本学サマープログラム（中国嶺南師範学院教員2名学生5名、  
韓国東新大学教員1名学生6名 計14名参加）
  - 8月2日～11日 ドイツハイデルベルグ大学短期留学支援（中田朋加さん、糸井センター長引率）
  - 8月10日 済州大学サマープログラム留学支援（唐澤健輔君 成田空港・関澤）
  - 8月17日 ニューヨーク市立大学ラグーディアコミュニティカレッジ 遠山京子教授、学生ニ  
ーナさん来訪（糸井センター長、田中、関澤）
  - 8月18～19日 ニューカッスル研修緊急帰国対応
  - 8月21日～24日 アメリカメルビル大学短期留学支援（武田梨那さん 関澤引率）
  - 8月25日～9月2日 アメリカ大学視察と打合せ（ノートルダム大学、インディアナ大学等 関澤）
  - 9月5日 グローバル人材育成教育学会第2回中部支部大会本学で開催（住吉学長、糸井センター長、  
山添、金子、中村、田中、関澤参加）
  - 9月13日 中国嶺南師範学院新入生歓迎会スカイプ中継参加
  - 9月29日 第4回国際交流センター運営委員会
  - 10月21日 後期国際プログラム説明会（糸井センター長、田中、関澤）
  - 10月23日 留学に関わる申請取次ぎ研修会（新大阪丸ビル：関澤）
  - 10月28日 第5回国際交流センター運営委員会
  - 11月2日～3日 嶺南師範学院 副学長以下全4名来訪（2日歓迎会、3日打合せ、松本市内見学）

- 11月13日 ASEAN5か国（ブルネイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン学生15名、教員・観光局職員4名、日本アセアンセンター職員2名）計21名来訪 益山ゼミとの交流ディスカッション、茶道体験
- 11月13日 松本東ロータリークラブスピーチコンテスト  
リ・シイさん審査委員特別賞受賞（ホテルブエナビスタ）
- 11月15日 グローバル人材育成教育学会第3回全国大会（明治大学：糸井センター長、関澤参加）
- 11月30日 湘北短期大学とニューカッスル大学とのエクステンジブプログラム視察（関澤）
- 12月4日 県国際化協会主催 企業訪問参加 サイバックコーポレーション（塩尻市）  
アルズグリ・トルスンさん、コウ・ユウ君、関澤参加
- 12月10日 清泉女学院短期大学 国際交流センター訪問（糸井センター長、田中、関澤）  
東京入国管理局長野出張所にて在留資格取次資格申請（田中、関澤）
- 12月11日 台湾 朝陽科技大学（学生25名、教員5名）計30名来訪  
益山ゼミ、国際交流クラブとの交流
- 12月13日 ワイズメンズクラブ主催 アジア賞授賞式  
コウ・ユウ君、リ・シイさん優秀賞受賞（丸山学生課長出席）
- 12月18日 アメリカカリフォルニア州立大学サンバルディーノ大学、オキシデンタル大学、テネシー州立大学、ケンタッキー州立大学学生・教員計75名来訪  
益山教授より「Japanese Hospitality」受講、学生との交流  
留学生フィールドトリップ参加学生に対し、益山教授より「日本のおもてなし」講義
- 12月21日 東京入国管理局へ交換留学生在留資格申請書提出  
海外留学危機管理セミナー（東京 剛堂会館 関澤）

## (7) 地域健康支援ステーション運営委員会

本ステーションは、文部科学省平成21年度大学教育推進GP事業の採択を受けて本学人間健康学部健康栄養学科内に設置され、平成22年4月から管理栄養士を専任スタッフとして配置し、メニュー開発や栄養指導など本格的に活動を開始した。GP事業終了後には、スポーツ健康学科含め人間健康学部全体の教育や地域貢献との関わりを保ちながら独自の活動を推進してきた。平成25年度には同省COC事業の採択を受け、健康運動指導士を専任スタッフとして配置し、地域からの要望に応じ、運動指導や体力測定などにも活動の幅を広げている。活動に参加する学生においては、地域における実践指導の体験等を通して栄養や運動に関する専門的な学習を深める場となっており、学生の育成と地域貢献を理念とした健康づくりのため、栄養と運動の両面からさまざまな活動を行っている。

### (a) 組織と会議

- 1) 組織：運営委員長1名（健康栄養学科長） 委員3名（スポーツ健康学科長、総合経営学科、観光ホスピタリティ学科教員各1名） 事務局5名
- 2) 運営委員会：2回 4月13日（文書審議）、6月1日

### (b) 管理栄養士による実践的活動（栄養面からの健康教育）

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ（管理栄養士）が実施した活動

- ①4月3・4・5日「ハイリスク学生個別栄養指導」  
（依頼元：松本大学健康安全センター、対象者13人、指導教員：廣田直子）
- ②5月19日、6月9・23日、1月26日「吉田地区健康教室での栄養指導」  
（依頼元：塩尻市吉田公民館、指導教員：廣田直子）運動教室の中のメニューとして実施
- ③5月19日、6月16日、3月15日「本山地区介護予防運動教室での栄養指導」  
（依頼元：塩尻市社協本山分会、指導教員：廣田直子）運動教室の中のメニューとして実施
- ④5月28日、6月9日「床尾地区健康教室での栄養指導」  
（依頼元：塩尻市社協床尾分会、指導教員：廣田直子）運動教室の中のメニューとして実施
- ⑤7月24日、8月28日「林業作業士初任者研修の講師」

(依頼元: 財)長野県林業労働財団、対象者のべ55名、指導教員: 廣田直子)

⑥12月6日「食育SATシステムによる食事診断」

(依頼元: 長野県諏訪保健福祉事務所ほか、対象者36人、指導教員: 廣田直子)

⑦12月17日、3月17日「せば福祉施設介護予防教室の栄養指導」

(依頼元: 塩尻市社協、指導教員: 廣田直子) 運動教室の中のメニューとして実施

(c) 健康運動指導士による実践的活動

地域からの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(健康運動指導士)が実施した活動

1) 運動実践指導

①4月7・21日、5月19日、6月2・16日、7月7・21日、8月4・18日、9月1・15日、10月6・20日、11月17日、12月1・15日、1月19日、2月2・16日、3月1・15日

「介護予防運動教室の講師」

(依頼元: 塩尻市社会福祉協議会本山分会、対象者のべ218名、指導教員: 中島節子、参加学生2名)

②4月14・21・28日、5月12・19・26日、6月2・9・16・23・30日、7月7・14・21・28日、8月4・11・18・25日、9月1・8日、10月6・13・20・27日、11月10・17・24日、12月1・8・15・22日、1月12・19・26日、2月2・9・16・23日、3月1・8・15・22日

「健康教室『のびのび健康時間』の講師」

(依頼元: 塩尻市吉田公民館、対象者のべ1,031名、指導教員: 根本賢一、参加学生4名)

③4月14・23日、5月12・28日、6月9・25日、7月14・23日、8月11・27日、9月8・24日、10月13・22日、11月10・26日、12月8・24日、1月12・28日、2月9・25日、3月8・24日

「健康教室の講師」

(依頼元: 塩尻市社会福祉協議会床尾分会、対象者183名、指導教員: 中島節子、参加学生2名)

④5月21日、6月18日、7月23日、8月20日、9月17日、10月22日、11月19日、12月17日、2月18日、3月17日

「ふれあいセンター洗馬『いきいき講座』の講師」

(依頼元: 塩尻市社会福祉協議会、対象者154名、指導教員: 中島節子、参加学生4名)

⑤5月18日、9月7日、11月9日 「元気もりもり運動講座の講師」

(依頼元: 朝日村、対象者のべ66名、指導教員: 中島節子)

⑥6月17日、8月26日、11月25日 「新田上・下地区地域サロン介護予防運動の講師」

(依頼元: 朝日村、対象者のべ73名、指導教員: 中島節子)

⑦6月23日 「社員の健康づくり運動の講師」

(依頼元: 昭和電工セラミックス(株)塩尻工場、対象者33名、指導教員: 等々力賢治)

⑧6月26日、9月25日、12月18日、3月11日 「三ヶ組地区地域サロン介護予防運動の講師」

(依頼元: 朝日村、対象者のべ94名、指導教員: 中島節子)

⑨7月22日、11月24日 「沢上・下地区地域サロン介護予防運動の講師」

(依頼元: 朝日村、対象者のべ38名、指導教員: 中島節子)

⑩7月11日 「農家組合活動『農家のためのストレッチ』の講師」

(依頼元: JA松本ハイランド今井支所、対象者42名、指導教員: 根本賢一)

⑪10月28日 「いきいき講座『グリーン倶楽部66』の体力測定」

(依頼元: 朝日村、対象者4名、指導教員: 根本賢一)

⑫11月22日 「小井戸地区元気づくり広場『介護予防体操』の講師」

(依頼元: 塩尻市社会福祉協議会、対象者10名、指導教員: 中島節子)

⑬12月19日 「介護予防教室の講師」

(依頼元: JA松本ハイランド、対象者23名、指導教員: 根本賢一)

2) レクリエーション

①4月16日 「新入社員の人間関係を深める交流会の講師」

(依頼元: 昭和電工セラミックス(株)塩尻工場、対象者14名、指導教員: 犬飼己紀子、参加学生1名)

②8月5日「障がい児・者交流会の講師」

(依頼元:中野市社会福祉協議会、対象者57名、指導教員:犬飼己紀子)

③1月13日「精神障害者デイケアたんぽぽ『冬場の体力づくり』の講師」

(依頼元:朝日村、対象者7名、指導教員:根本賢一)

3) 研修会講師

①5月22日「地域交流会『延ばそう健康寿命』」

(依頼元:塩尻市社会福祉協議会奈良井分会、対象者70名、指導教員:中島節子、参加学生:1名)

②8月19日「松本地域食生活改善推進員ステップアップ研修会『いきいきヘルスマイト講座』」

(依頼元:松本保健福祉事務所、対象者38名、指導教員:根本賢一、)

③10月23・30日「健康セミナー『体力測定、運動指導』」

(依頼元:(株)サイバックコーポレーション、対象者43名、指導教員:根本賢一)

④1月29日「職員研修会」

(依頼元:長野県商工会職員協議会安筑支部、対象者25名、指導教員:中島節子)

⑤3月14日「松本市食生活改善推進員総会『健康寿命延伸のために』」

(依頼元:松本市食生活改善推進協議会、対象者128名、指導教員:根本賢一、参加学生1名)

(d) 学生との連携による実践的活動

地域や関係機関などからの依頼を受けて、本ステーションの管理栄養士、健康運動指導士が専門的サポートをし、学科教員の指導のもと健康栄養学科とスポーツ健康学科の学生と連携して実施した活動。

1) 有線放送番組作成

①6月22日、9月28日、12月16日「有線放送番組の企画と出演」

(依頼元:更北有線放送、指導教員:中島節子、参加学生7名)

2) 地域住民組織の健康づくり研修会受託

①8月3日「保健補導員研修会」

(依頼元:軽井沢町、対象者18名、指導教員:廣田直子)

②8月31日「立科町保健委員会会員視察研修会」

(依頼元:立科町、対象者13名、指導教員:中島節子、参加学生4名)

③11月26日「南相木村保健補導員研修会」

(依頼元:南相木村、対象者8名、指導教員:中島節子、参加学生3名)

④2月5日「南牧村健康推進委員日帰り研修会」

(依頼元:南牧村健康推進委員連合会、対象者22名、指導教員:中島節子、参加学生7名)

3) 栄養面からの健康教育

①「食育イベントでのおにぎりチャレンジ隊」

(依頼元:松本市農林部農政課、指導教員:廣田直子、参加学生8名)

a) 6月1日 パネル展示開始

b) 6月7日 おにぎりチャレンジ隊

②10月12日「食育SATシステムによる食事診断」

(依頼元:長野県立こども病院、指導教員:廣田直子、参加学生2名)

③「ポリ袋で料理を作ろうコーナー」

(参加イベント:ものづくりフェア、指導教員:廣田直子)

a) 7月14日「災害非常時の食事支援について勉強会」(参加学生8名)

b) 7月19日「ポリ袋で料理を作ろうコーナー開設」(対象家族15家族、参加学生3名)

4) メニュー開発、メニュー提案

①「松本山雅スタジアム『食』第6期メニュー開発」

(依頼元:株式会社 松本山雅、指導教員:廣田直子、石原三妃、成瀬祐子)

a) 5月25日「プロジェクト参加説明会」(参加学生26名)

b) 5月28日「スタめし開発勉強会」(参加学生30名)



- c) 6月3・7日 「アルウィン現地視察」(参加学生36名)
- d) 7月21日～随時 「業者との打合せ」(9アイデア8業者、対象学生20名)
- e) 9月18日 「完成発表会」(参加学生18名)
- f) 9月23日、10月3日 「販売と補助」(9商品販売、参加学生23名)
- ②「世界健康首都会議 健康弁当提案プロジェクト」
  - (依頼元: 松本市ほか、指導教員: 廣田直子、成瀬祐子、水野尚子、石澤美代子)
  - a) 8月4日 「プロジェクト合同説明会・研修会」(参加学生20名)
  - b) 8月18日、8月31日、9月8日 「学内検討会」(対象学生10名)
  - c) 9月15日 「学生案の提案説明会」(対象者6名、参加学生6名)
  - d) 10月1日 「弁当業者との打合せ」(参加学生11名)
  - e) 10月21日 「完成披露会」(対象マスコミ各社、参加学生10名)
  - f) 11月6日 「プレゼンと販売補助」(300食販売、参加学生4名)
- ③「全国植樹祭 おもてなし弁当検討会参画」
  - (依頼元: 全国植樹祭長野県実行委員会、指導教員: 廣田直子、石原三妃、裕野佐也香、大森恵美)
  - a) 7月22日 「県庁おもてなし弁当検討会議」参加(参加学生3名)
  - b) 8月4日 「プロジェクト合同説明会・研修会」(②の健康弁当提案と合同)
  - c) 8月21日、9月1・2日 「学内検討会」(対象学生12名)
  - d) 9月17日、11月25日 「県庁おもてなし弁当検討会議」参加(参加学生各3名)
- ④10月31日 「6次産業安曇野そばスイーツアイデアコンテスト支援」
  - (依頼元: 安曇野はそばの郷振興委員会、指導教員: 矢内和博、学生受賞者4名)
- ⑤6月26日 「わさびを使った商品アイデア提案説明会」
  - (依頼元: 株式会社マル井、指導教員: 矢内和博、参加学生5名)
- ⑥「社員食堂ヘルシーメニュー提案」
  - (依頼元: ㈱サイベックコーポレーション、指導教員: 廣田直子)
  - a) 2月15日 「社員食堂厨房見学・メニュー打合せ」(参加学生2名)
  - b) 3月8日 「サイベック、松本大学コラボヘルシーメニュー提供」(参加学生3名)
- 5) イベント運営
  - ①「カフェ ポタジエ運営」
    - (参加イベント: 大学祭、指導教員: 廣田直子)
    - a) 8月7日、9月14日、9月29日 「打合せ会」(対象学生各6名)
    - b) 10月18日 「大学祭 カフェポタジエ 実施」(参加学生26名)
  - ②「一日限りのレストラン」
    - (健康栄養学科主催の事業の運営支援、指導教員: 成瀬祐子、水野尚子、裕野佐也香、石澤美代子、宮澤佳代、西村由紀子)
    - a) 4月20・27日、5月11・16・18・22日、6月8・22・29日、7月6・18日、8月5・7日 「打合せ会等」
    - b) 8月21日 「学内試食会・報道発表」(40食提供)
    - c) 10月4日 「一日限りのレストラン 実施」(40食×2回提供)
- 6) 学生活動支援
  - ①11月4・18日、12月2・16日、1月6・20日、2月9日 「エコクッキング料理集作成」
    - (地域づくり考房「ゆめ」の活動支援)
- (e) サポート教員
  - ①10月21日 「看護学概論」の講義
    - 管理栄養士による「健康づくり・栄養の話」
    - (依頼元: 松本大学人間健康学部スポーツ健康学科中島節子専任講師、対象者: 看護学概論履修生12名)

- ②10月30日 「大学入門～食事栄養管理～」の講義  
行政における管理栄養士の役割  
(依頼元:松本大学人間健康学部スポーツ健康学科藤岡由美子専任講師、対象者:1年生95名)

- ③11月20日  
「臨床栄養学実習Ⅱにおけるロコモ度テストの実演」  
(依頼元:松本大学人間健康学部健康栄養学科藤岡由美子専任講師、対象者:3年生80名)

(f) その他専門活動

- ①9月19～22日 「全国レクリエーション大会 会場係」  
(依頼元:長野県レクリエーション協会、対象者多数、指導教員:犬飼己紀子)

(g) 広報活動

- ①ホームページブログ記事更新  
②「蒼穹」第119、120、121、122号原稿執筆  
③3月24日 在学生オリエンテーション  
④9月17日 「松本大学地域健康支援ステーションを通じた学外連携」  
(依頼元:松本地域産学官連絡会、指導教員:廣田直子)  
⑤10月18日 「第6回松本大学地域貢献大賞選考会」 学生委員長賞受賞  
プレゼンテーション「世界健康首都会議で販売される、健康弁当のメニュー提案」  
⑥9月26日 「第62回日本栄養改善学会学術集会 示説発表」  
演題「管理栄養士養成課程の学生が実施した『健康弁当』提案の取組み～課外活動を通じた学生の学びの実践報告～」  
⑦11月8日 「松本地域食を育むつどい」食育活動事例発表「学生と地域が連携する食育」  
(依頼元:松本地域食を育む連絡会議、長野県松本保健福祉事務所)  
⑧2月24日 「健康と食と農のつどい in 木曽」 活動事例発表「愛ディアあふれる健康弁当の取組みについて」  
(依頼元:健康と食と農のつどい実行委員会、長野県木曽保健福祉事務所)

(h) 研修会

- ①2月28日 卒業生フォローアップ研修会「声は生きるエネルギーを高めるカギになる」  
村松由美子氏講演会(併催)

**(8) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会**

(a) 考房『ゆめ』利用促進事業

- 1) 考房『ゆめ』新入生へのオリエンテーション  
4月4日(土):ウェルカムパーティにて 全プロジェクト
- 2) 講義内での考房『ゆめ』およびプロジェクトの紹介
- |          |             |                  |            |
|----------|-------------|------------------|------------|
| 5月27日(水) | 「基礎ゼミナール」   | 短期大学部基礎ゼミナール担当教員 | 『ゆめ』活動紹介   |
| 7月2日(木)  | 「地域社会と大学教育」 | 住吉 廣行学長          | 告知:あるぷすタウン |
|          | 「マナーと接遇」    | 八木 雅子准教授         | 告知:あるぷすタウン |
| 7月6日(月)  | 「地域社会と大学教育」 | 住吉 廣行学長          | 告知:あるぷすタウン |
|          | 「生理学AB」     | 河野 史倫准教授         | 告知:あるぷすタウン |
|          | 「食品機能論AB」   | 矢内 和博専任講師        | 告知:あるぷすタウン |
|          | 「情報社会論」     | 室谷 心教授           | 告知:あるぷすタウン |
| 7月7日(火)  | 「観光地理Ⅱ(世界)」 | 向井 健専任講師         | 告知:あるぷすタウン |
| 7月8日(水)  | 「経営戦略論」     | 葛西 和廣教授          | 告知:あるぷすタウン |
- 3) 学生企画による「ゆめカフェ」開催  
4月8日(水)、9日(木)、10日(金)、13日(月)、14日(火)、5月27日(水)  
4月～5月:新メンバー加入促進月間

## 4) 27年度地域貢献活動実績

年間受件数	年間参加件数	年間延参加人数
59件	24件	186人

※考房『ゆめ』で把握している数字。実数とは異なる。

## (b) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業

## 1) 学生の自主企画による活動

地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト (7プロジェクト: 具体的内容は後述)

松本大学支援によるプロジェクト (1プロジェクト: あるぷすタウン)

## 2) 地域からの依頼事業への参加: 全24件 ※詳細は学生版アニュアルレポートに記載

個人参加: 23件169人

学生プロジェクトによる参加: 4件

※新村地区オープン大会、新村地区市民運動会、松本ろう学校文化祭お手伝いへはプロジェクト・個人両方で参加

## 3) 地域とのパートナーシップ事業 (2プロジェクト)

4月～: すずき川花火大会プロジェクト

花火大会とのコラボ企画立案と運用、広報活動への参画、事務局と一緒に花火大会を運営。  
(学生・すずき川花火大会事務局)

4月～: 松本BBS会

少年少女の成長の手助けと非行のない地域社会を目指す。(学生・社会人・保護司会)

## 4) 地域のイベント時の活動発表

11月8日(日) 島内文化祭「防災に関する手話発表」学生プロジェクトSignメンバー4名

## (c) 考房『ゆめ』自主事業

## 1) 平成27年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

【前期審査会: 平成26年度実施】 応募プロジェクト: 6 認定プロジェクト: 6

## ①松本大学キッズスポーツスクール (38,000円)

子どもたちからだを動かす楽しさを伝え、スポーツ好きになるためにサポートする。

月2回スポーツスクール開催

## ②松本大学こどもあそび隊 (40,000円)

親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として年8回こども広場を開催

## ③Sign (25,000円)

手話を通じて聴覚障がい者への理解を広める 他

## ④◎いただきます!! (30,000円)

松本市環境政策課と連携し、食品ロスを削減するためのレシピの作成、残り物で出来る料理の教室の実施。

## ⑤ええじゃん栄村 (100,000円)

栄村復興支援 (ぶらり農園と協働し栄村特産品を使った商品開発を行う)

## ⑥プロプロ (42,000円)

使われなくなったレゴブロックを回収し、洗浄・消毒したブロックで遊ぶ場の提供、必要などころへのブロックの提供。

【後期審査会: 11月20日(金) 実施】 応募プロジェクト: 1 認定プロジェクト: 1

## ①ゆめ編集 (100,000円)

学生による学生のための情報を伝える「Volere!!」の編集・発行

【報告会開催: 3月16日(水) 実施】

## ①松本大学キッズスポーツスクール (申請額38,000円、決算額35,562円)

・子どもたちからだを動かす楽しさを伝え、スポーツ好きになるためにサポートするための

キッズスポーツスクールを計20回開催した。

- ・新村地区へのイベントに参加  
(新村地区オープン大会へ参加、新村地区運動会での運営補助として参加した)
  - ②松本大学こどもあそび隊(申請額40,000円、決算額24,148円)
    - ・親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として年8回こども広場を開催し未就学児向けに工作や歌、読み聞かせを行うイベントを実施した。
    - ・松本市環境政策課協力の下、梓乃森祭でのイベント「みんなで減らそう食品ロス～あるぷちゃんと考えよう!ごはんはたいせつ」を開催。食べ物の大切さや食べ残しに関する紙芝居やクイズ、ゲームを未就学児～小学生向けに実施した。
  - ③Sign(申請額25,000円、決算額9,397円)
    - ・聴覚障がいを持った方とのコミュニケーションの手段として手話勉強会を年5回、島内手話教室4回参加した。
    - ・島内地区文化祭にて防災についての手話の発表を行い聴覚障がいに対して理解してもらうきっかけ作りをした。
    - ・聴覚障がいをもったお年寄りのデイスリースりんどうの会と2回交流を行った。
    - ・聴覚障がい児向けのイベントやろう学校文化祭でお手伝いを行った。
  - ④◎いただきます!!(申請額30,000円、決算額32,263円)
    - ・松本市環境政策課と連携し、食品ロスを削減するためのレシピ完成。(2016年3月発行)野菜まるごとレシピ19品、リメイク料理22品考案。
    - ・8月に残り物で出来る料理教室を地域向けに開催。
    - ・梓乃森祭にて野菜を皮ごと使った豚汁の販売。
    - ・食品ロスレシピ集完成し松本市長へ表敬訪問。
  - ⑤ええじゃん栄村(申請額100,000円、決算額21,287円)
    - ・ぶらり農園から依頼を受けイタドリを使ったレシピの考案を行った。
    - ・栄村で取れる四季の野菜を使ったケーキの考案を行った。
    - ・9月に栄村を訪問しぶらり農園との打合せ、交流、栄村の視察をした。
    - ・梓乃森祭Veg.Sweetsで栄村で取れる野菜のシフォンケーキの提供をした。
  - ⑥ブロプロ(申請額42,000円、決算額17,918円)
    - ・市民タイムス「ください欄」を利用したブロックの回収4件。
      - ・ブロックの提供の機会としてのブロックで遊ぶイベントを3回開催。
    - ・県立こども病院へブロックの提供を行った。
- 2) 平成28年度前期地域づくり学生チャレンジ奨励制度  
 申請前事前指導・支援:一斉講義[企画書・予算書の立て方]1月12日～14日昼休み個別指導(随時)  
 募集期間:1月12日(火)～3月11日(金)  
 審査会開催:3月16日(水)  
 応募プロジェクト:5/ 認定プロジェクト:5
- ①松本大学キッズスポーツスクール(39,000円)
  - ②こどもあそび隊(20,000円)
  - ③Sign(40,000円)
  - ④◎いただきます!!(30,000円)
  - ⑤ええじゃん栄村(49,000円)
- 3) 第4期松本大学地域づくりコーディネーター養成講座開催  
 開催期間:27年3月28日(土)～27年9月8日(火)  
 プログラム:基礎講座 26年11月 専門講座 26年12月～27年1月  
 実践講座 27年3月～8月 審査会 27年9月8日(火)

講座開講時の受講者：10名（社会人7名、学生3名） 認定者：6名 準認定学生：なし

#### 【27年度実施内容】

- ・3月28日（土）実践講座1回  
 テーマ：魅力あるプログラムづくり  
 講師：山崎 富一（NPO法人笑顔せたがや事務局長）
  - ・5月19日（火）実践講座2回  
 テーマ：地域づくりコーディネーターの力量形成に向けて1  
 実践活動での課題把握と分析、今後の活動をデザインするラウンドテーブルI  
 講師：福島 明美（本学非常勤講師）
  - ・6月16日（火）オプション企画フィールドワーク「長野市中条地区、大町市」  
 テーマ：コーディネーター認定者によるコーディネート実践、現場視察  
 講師：福島 明美（本学非常勤講師）、三戸呂 三都子（第1期地域づくりコーディネーター認定者）、  
 黒岩 秀美（第2期地域づくりコーディネーター認定者）
  - ・7月7日（火）実践講座 3回  
 テーマ：シナリオを実現するための魅力あるプログラムづくり2  
 講師：小林 博明（町の縁側育み隊長野世話人）、福島 明美（本学非常勤講師）
  - ・8月11日（火）実践講座 4回  
 テーマ：コーディネーターとしての力量形成に向けて～実践を物語る“ミニラウンドテーブル”  
 講師：福島 明美（本学非常勤講師）
  - ・9月8日（火）実践報告会・審査会  
 テーマ：①地域づくりコーディネート実践報告会・コーディネート実践活動発表  
 ②グループディスカッション  
 講師：山崎 富一（NPO法人笑顔せたがや事務局長）、小林 博明（町の縁側育み隊長野世話人）、  
 廣瀬 豊（本学教員）、福島 明美（本学非常勤講師）
- 4) 第48回梓乃森祭地域づくり考房『ゆめ』ひろば開催  
 開催日：10月17日（土）、18日（日） 場所：松本大学5号館  
 内容：活動紹介パネル数：9プロジェクト、コーナー出展数：3プロジェクト
- ・展示コーナー：学生プロジェクト活動紹介パネル、すずき川花火大会絵画写真コンテスト入賞作品、  
 マーブルの会、第2コムハウス、バリューボックス、松本市環境政策課によるみんなで減らそう食品  
 ロスの展示、松本市消費者の会による再生食器ができるまでの展示・不用食器の無料配布（水橋  
 先生授業の学生4人サポート）
  - ・販売コーナー：第2コムハウス、マーブルの会（『ゆめ』学生1名サポート）
  - ・体験コーナー：Signによる聴覚障がい者体験、プロプロによるレゴブロック遊びとコンテスト、こど  
 もあそび隊による子供むけイベント『あるぷちゃんと考えよう！ごはんはたいせつ』の紙芝居実演  
 や工作をフリースペースで開催
  - ・無料湯茶おやすみ処：新村地区マーブルの会（学生3名サポート）
- 参加団体：15団体（学生プロジェクト：9団体、地域：6団体）  
 支援内容：プログラム内容相談・調整  
 事前打合せ：9月7、8日（『ゆめ』合宿にて）、9月30日
- 5) COCフォーラム開催 平成27年度地域フォーラム  
 開催日：2月27日（土）13：30～15：30 於：松本大学515教室（5号館1階）  
 テーマ：子どもの夢が、未来の町を創造する～あるぷすタウンが果たす地域づくりの役割～  
 内容：①基調講演（先進事例の紹介） 講師：近藤真唯 千葉商科大学専任講師  
 「キッズタウンに求められる期待～キッズビジネスタウンいちかわの実践から～」  
 ②パネルディスカッション（質疑・討議）  
 コーディネーター：廣瀬 豊 『ゆめ』運営委員長

アドバイザー：近藤真唯 千葉商科大学専任講師

報告Ⅰ 学校を核とした地域づくり 報告者：伊藤学司 長野県教育委員会教育長

報告Ⅱ 高校生実践するビジネスタウン 報告者：小平紀文 長野県諏訪実業高等学校教諭

報告Ⅲ 企業人からの思い 報告者：花村薫 あづみ野エフエム株式会社社長

参加者：学生5名、教職員26名、外部講師1名、外部パネリスト3名、一般40名（本学学生3名） 計75名

企画・運営：廣瀬豊運営委員長、大野聡教授、向井健専任講師、地域づくり考房『ゆめ』職員、学生当日スタッフ：小林美寿希、二村有紀、小島なつみ、伊藤悠太郎、近藤壮太（院生）

打ち合わせ：12月～2月

(e) 学生と地域の方でつくる松本大学共催イベントへのサポート事業

1) あるぶすタウン

開催日：平成28年2月27日（土）～28日（日）10：00～16：00

内容：子どもが楽しみながら街を知る、仕事を知る、「子どもだけのまち」

参加者：小学校4年生82名、小学校5年生70名、小学校6年生40名、中学校1年生14名、中学校2年生3名（計209名 2日間延べ410名）

企画・運営スタッフ：あるぶすタウン実行委員会（学生14名、地域の方11名）

サポート：本校学生当日ボランティア55名延べ69名、高校生当日ボランティア26名

他校学生当日ボランティア1名、社会人当日ボランティア5名延べ6名、

企業・団体専門家33ブース98名延べ154名

(f) センター組織の整備充実

1) 学生活動への支援体制の充実

学生スタッフ等の配置

内容：ゆめ学生スタッフ：6名（相談員・情報収集・発信・イベント企画・運営・実施）

2) 各種会議開催

・運営委員会：8回 [4月2日、5月8日、6月12日、7月17日、9月29日、11月24日、12月22日、1月15日]

・職員会議：4月～3月、週1回

・学生スタッフ会議：年15回（4月～3月：月1～2回）

・学生スタッフ・リーダー会議：年5回

3) 研修・交流

・考房『ゆめ』全プロジェクト前期研修会・交流会 9月7日・8日

参加者：学生32名、教職員6名

内容：オリエンテーション、体験企画、レクリエーション、交流会、地域貢献大賞について、

ワークショップ（テーマ：計画的な事業実施のために 講師：廣瀬豊『ゆめ』運営委員長）、

ワールドカフェ（テーマ：これからの『ゆめ』に必要なこと）

企画・運営：地域づくり考房『ゆめ』職員、学生スタッフ、各学生プロジェクト

・考房『ゆめ』27年度活動報告会・交流会：H28年3月9日（水）9：40～16：00

参加者61名：（学生39名、一般14名、教職員8名）

内容：ワークショップ テーマ：活動の参加者を増やすための魅力的な広報

（講師：NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター事務長 齊藤新氏）

学生プロジェクトと地域の方との昼食交流会、学生プロジェクト平成27年度活動報告

4) 視察・研修等受け入れ

大学：5件

北九州市立大学 三宅博之教授・ゼミ生（7月8日）

愛知東邦大学 学生課長二宮加代子氏（10月30日）

共愛学園前橋国際大学 学生（11月26日）

東京造形大学現代造形創造センター 岩瀬大地准教授（28年1月29日）

西日本国際大学 (28年2月25日)

その他:2件

中野市社会福祉協議会 (8月3日)

松本お城ロータリークラブ (28年1月19日)

5) 視察

田園調布学園大学で実施するキッズタウン「ミニたまゆり」の視察

日程:2月6日(土)

参加者:教職員2名、学生2名、地域の方1名

6) 広報関係

- ・ウェブサイト(ゆめHP)／学生ブログによる情報発信
- ・発行／平成27年度学生プロジェクト紹介冊子、ゆめ通信(第33号～第34号)、平成27年度中間活動報告、平成27年度活動報告、平成27年度地域フォーラム報告、Volere!!vol5(学生プロジェクト『ゆめ』編集)、サンクスレシビ集(学生プロジェクト◎いただきます!!と松本市環境政策課にて製作、発行:松本市)
- ・学内発行物に掲載／学報『蒼穹』に掲載(第115号～第122号)
- ・新聞掲載
  - 信濃毎日新聞:◎いただきます!!／1月5日 食べ残し削減流通せず捨てられる食品活用・1月15日 食を見直しごみを減らそう
  - :すすき川花火大会プロジェクト／7月24日 松本を花火で元気に
  - 中日新聞 :プロプロ／5月26日 闘病の子にブロック玩具贈る
  - :あるぷすタウン／2月28日 小中生社会の仕組み学ぶ
  - 市民タイムス:◎いただきます!!／8月18日 夏休み親子料理教室・2月6日 もったいない 子供に指導
  - :プロプロ／5月28日 こども病院にブロック・7月23日 ブロックおもちゃください
  - :あるぷすタウン／6月20日あるぷすタウンの協賛募る ・1月8日 キックオフセレモニー
  - :無料こども塾／4月26日 恵まれない子の学習支援
  - :松本BBS会／5月17日 松本BBS会員募集
- タウン情報 :こどもあそび隊／12月22日 クリスマス会歌や工作を楽しむ
- :あるぷすタウン／3月1日 仕事の喜び大変さを実感
- :◎いただきます!!／28年3月29日 食品ロスを減らす料理
- ・雑誌・広報誌掲載
  - 月刊イクジィ:キッズスポーツスクール(4月～28年3月)
  - :こども遊び隊(4月～28年2月)
  - :プロプロ(28年1月)
- 集まれ!松本キッズ!:キッズスポーツスクール(7月～28年3月)
- :こどもあそび隊(7月～28年1月)
- 経済月報:あるぷすタウン／11月号 大学と地域がつながる地域づくり考房『ゆめ』
- 広報まつもと:◎いただきます!!
  - ・6月号 松本大学チーム「◎いただきます!!」
  - ・7月号 もったいないクッキングで食品ロスを減らそう!
- 新村公民館だより「ものぐさ」:◎いただきます!!／8月1日 親子料理教室
- 松本市公民官報:◎いただきます!!／9月30日 夏休み親子料理教室開催!
- 保護司会だより:松本BBS会／7月1日 松本BBS会 新年度総会
- ・記者会見
  - あるぷすタウン(あるぷすタウンキックオフセレモニー 28年1月8日)

第4期地域づくりコーディネーター養成講座認定授与式（プレスリリースのみ9月25日）

## (9) 学生委員会

### (a) 委員会開催

#### ①全学学生委員会

- 4月20日 奨学金採用面接調整、学生指導について、今後の日程等
- 4月30日 学生スタッフ内規の検討、第二体育館閉鎖に伴う諸問題、学外指導者について、同好会申請等
- 6月25日 評価報告内容検討、喫煙場所のあり方、今後の日程等
- 7月30日 新村地区との地域連携について、学長賞検討、事件事故報告
- 8月21日 経済状況悪化支援制度面接・審査
- 10月1日 災害被害学生支援・スポーツ特待継続審査、梓の森祭進捗状況等
- 10月20日 学生指導について
- 10月23日 学生指導について
- 11月11日 経済状況悪化支援制度について、今後の日程等
- 12月9日 金継続要件、経済状況悪化支援制度内容審議、同好会申請等
- 2月29日 スポーツ特待継続審査、環境保全に関する組織設置検討等
- 3月8日 災害被害学生の学費減免審査、学生賠償責任保険、今後の日程等
- 3月15日 経済状況悪化支援制度面接・審査

#### ②総合経営学部学生委員会

7月29日

#### ③短期大学部学生委員会

4月14日・5月26日・6月23日・9月2日・10月22日・11月26日・3月1日

#### ④大学祭実行委員会

5月23日 以降毎週水曜日昼休みに実施

11月13日 反省会

### (b) 対外的活動

- ・新村情報交換会 10月10日・3月6日
- ・松本大学地域懇話会 12月16日
- ・松本ほんぽん 実行委員会 7月15日
- ・平成26年度県私立短期大学体育大会幹事校会議 5月14日・6月5日・7月24日
- ・平成26年度県私立短期大学体育大会 9月12日
- ・平成26年度県私立短期大学体育大会会計監査（於：豊南女子短大） 12月12日
- ・次年度主管校私立短期大学体育大会事務引継（於：上田女子短大） 1月9日
- ・新村運動会 9月6日
- ・新村文化祭・音楽祭 11月1日～2日

## (10) 就職委員会

就職委員会とキャリアセンターは連携して業務を行っており、その業務は、①学生の支援（就職活動・就職活動準備等）、②企業への求人依頼・情報交換、③保護者への案内・説明、④就職委員会運営等の管理業務の大きく4つ区分される。学生の支援については、就職活動年次学生対象の就職支援活動、就職活動を翌年以降に控えた学生対象の就職活動準備支援、全学生対象のキャリア支援・学生生活支援の3つに区分される。また、学生の就職活動の前提となる求人情報取得と採用試験の動向把握のために、長野県内をはじめとする企業への求人依頼のほか、企業訪問を通じて情報交換を行っている。そうした企業との信頼関係に基づき、就職活動準備支援を目的とした授業や行事にも協力いただいている。

一方で年々保護者の就職に対する関心と知識は高まっており、就職委員会とキャリアセンターの取組み



や家庭への協力依頼を目的とした通知を発送している他、毎年、「保護者会」を開催している。

就職委員会は3学部それぞれ毎月開催しており、就職支援活動の進捗等について、教職員間の情報共有と協力体制の構築を図っている。

平成24年度より全学就職委員会が新設され、3学部の就職委員会の主任および委員、大学院研究科の委員、そして事務局としてキャリアセンター職員が参加して構成され、平成27年度の委員長には平成24年度から継続して短大部就職委員の藤波が就いた。全学委員会の目的は、各学部および大学院研究科で共同して行う就職支援活動の調整にある。

全学が共同で行う学内合同企業説明会については、かつては、就職活動開始直後の12月は大企業を中心とし、2回目以降の3月、6月は地域の企業中心に行うことが例年の内容となっていた。

この開催については、大企業は採用計画が早期に設定され、採用活動への取組も早いこと、また、地域の企業は大企業の後に採用活動を活発化させる傾向があることを踏まえた結果となっている。しかし、平成27年度は就職活動スケジュールの後ろ倒しに伴い、第1回目を4月に行い、予定した10月については9月に変更し、3月は翌年度の4月開催を前倒して2回開催した。

9月に実施した学内合同企業説明については学生の参加者数が少なかったため、来年度は開催時期の変更が必要と考えられるが、これは売り手市場の状況において約8割の企業が8月より前に面接を開始したことに対応するものである。

3月に開催した次年度卒業生対象の2回の合同企業説明会は盛況であり、就職環境の好転を反映していた。

また、今年度は業界研究会を11月から1月にかけて11回行う予定であったが、セイコーエプソン社等を追加し、合計15回実施した。その参加合計人数は943名であり、昨年度の11回合計1,005名と比較し、実施回数は増えた一方で、参加人数は減少する結果となった。

キャリア面談については、引き続き、その多くを県内人材にシフトして実施した。また、そのキャリア相談の情報はメソフィアに入力されてゼミナール担当教員が閲覧できることとなっていたが、就職活動支援で個々の学生の個性に合わせた指導が目指された。

キャリア面談員については、県内の面談員を新規に3名追加採用することになり、平成28年度の登録者は24名となった。その結果、県内の面談員比率は66.7%（平成27年度）から79.2%（平成28年度）と、さらに高まる見通しとなった。

キャリアセンターの企業開拓は調査役を中心に県内全域を、県外企業は課長以下の職員によって出張等を含めた活動を行い、平成27年度は499件の企業訪問が行われた。

更に、キャリアセンターの閉館時間は、5月7日から7月24日まで、17時から18時に延長された。

#### (a) 委員会開催

平成27年度の実業委員会の開催状況は次の通りであった。

- ・全学就職委員会…11/18（水）
- ・総合経営学部…4/6（月）、5/13（水）、6/3（水）、7/1（水）、8/19（水）、10/1（木）、10/29（木）、12/2（水）、1/6（水）、2/3（水） <のべ10回開催>
- ・人間健康学部…4/2（木）、5/12（火）、6/9（火）、7/7（火）、8/26（水）、10/8（木）、11/10（火）、12/8（火）、1/12（火）、2/9（火）、3/8（火） <のべ11回開催>
- ・松商短期大学部…4/7（火）、4/21（火）、5/12（火）、5/26（火）、6/9（火）、6/23（火）、7/7（火）、7/21（火）、9/29（火）、10/14（水）、10/27（火）、11/11（水）、11/25（水）、12/8（火）、1/6（水）、1/20（水） <のべ16回開催>

## 2. 研究推進部門

### (1) 研究推進委員会

#### (a) 委員会開催

10月28日(水)

- ・「松本大学研究紀要第14号(通刊第66号)」について、審議の結果、原案どおり承認された。
- ・学内研究助成費の申請について説明がなされ、審議の結果、原案通り承認された。

1月27日(水)

- ・平成28年度研究助成費査定結果について、審議の結果、異議なく承認された。

#### (b) 事業・活動

- ・平成28年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果通知
- ・第4回松本大学教員研究発表会開催  
3月9日(水) 5名・10日(木) 12名 の合計17名の発表があった
- ・受託研究取り扱い規定の見直しを行い、平成28年4月1日から施行することとした。

### 1) 研究誌編集部会

#### (a) 事業・活動

- ・「地域総合研究第16号Part1」募集、査読、編集

4月2日 執筆意向調査案内(4月10日締切)

4月16日 追加募集

5月8日 原稿締切

5月 提出原稿査読

7月31日 発行

※原著論文5編、研究ノート1編、調査・事例報告2編、教育実践報告1編、資料1編の合計10編掲載した。

- ・「松本大学研究紀要第14号」発行

8月3日 執筆意向調査案内(10月5日締切)

4月16日 追加募集

11月9日 原稿締切

11月 提出原稿査読

1月31日 発行

※原著論文7編、研究ノート2編、調査・事例報告1編の合計10編掲載した。

### 2) 松本大学出版会運営部会

#### (a) 事業・活動

- ・COC戦略会議編「地域づくり再考～地方創生の可能性を探る～」出版(500部)

昨年度より計画していた、2014年9月27日～12月6日の間で9回にわたり実施したCOC公開講座の講演録をまとめた書籍を出版した。

- ・2014年度末に出版した「松本大学の挑戦－開学から10年のあゆみ－」について、広報・販売活動を積極的に行った。その他、既存の書籍についての販売、在庫管理等を行った。

- ・長野県出版協会会員として、図書目録「信州の本」への情報提供、および8月より幹事社となり活動を行った。

### 3) 地域総合研究センター運営部会

#### (a) センター運営部会の構成 14名

運営委員長(センター長) 1名(副学長)・運営委員 教員 9名(大学院1名、総合経営学部2名、人間健康学部3名、短期大学部3名)・特別調査・研究員 5名・外部研究員 2名・事務局6名

(b) 会議の実施状況

センター運営部会 1回 12月24日(木)

- ・外部資金による研究業務(受託事業)について報告(平成27年度は18件)
- ・平成27年度補正予算について報告

(c) 事業・活動

①地域との連携事業

i) 松本市との提携活動(継続事業)

a) 松本市地域づくり研究連絡会

担当:総合経営学科 木村晴壽教授・観光ホスピタリティ学科 白戸 洋教授

b) 観光ホスピタリティカレッジ企画・運営(事務局業務)

<一般講座>

- ・申し込み受付:9月7日(月)~10月5日(月)
- ・開講日・参加者(全7講座)
- 第1講:10/8(木) 参加人数:28名(社会人27名、学生1名)
- 第2講:10/29(木) 参加人数:23名(社会人21名、学生2名)
- 第3講:11/19(木) 参加人数:19名(社会人17名、学生2名)
- 第4講:11/26(木) 参加人数:19名(社会人17名、学生2名)
- 第5講:12/11(金) 参加人数:28名(社会人25名、学生3名)
- 第6講: 2/4(木) 参加人数:13名(社会人12名、学生1名)
- 第7講:1/28(木) 参加人数:19名(社会人16名、学生3名)

<公開講座>

- ・申し込み受付:8月24日(月)~9月10日(木)
- ・開講日・参加者(全1講座):9月14日(月) 参加人数:37名(社会人37名)

ii) 地域づくりインターンシップ戦略事業

- ・内容:松本市と「地域づくりインターンシップ戦略事業業務委託契約」を締結し、地域総合研究センター特別調査研究員5名が松本市内の各地区において地域づくり活動等を行った。
- ・契約日 4/14(火) 地域総合研究センター特別調査研究員委託契約締結式  
4/28(火)「松本市地域づくりインターンシップ戦略事業 委託契約」調印式  
(於:松本市役所)

※業務委託期間は契約日(4月28日)~平成28年3月31日までとした。

- ・特別調査研究員・活動地区:岩垂 綾:入山辺地区地域づくりセンター  
塚原 有香:鎌田地区地域づくりセンター  
松本 尚子:奈川地区地域づくりセンター  
濱 由佳子:中央地区地域づくりセンター  
丸山 裕也:四賀地区地域づくりセンター

②受託事業窓口業務

a) 平成27年度「松川村観光振興支援業務」

委託元機関:松川村/担当:観光ホスピタリティ学科 山根宏文教授

b) 平成27年度「健康動楽ゼミ」

委託元機関:大町市、松川村、(財)公園緑地管理財団アルプスあづみの公園管理センター

担当:大学院健康科学研究科 呉 泰雄准教授

c) 「えんえん」の業態の研究開発

委託元機関:美勢商事株式会社/担当:健康栄養学科 矢内和博 専任講師

d) 平成27年度「池田町観光振興支援業務」

- 委託元機関：池田町観光推進本部／担当：観光ホスピタリティ学科 山根宏文教授
- e) 「運動能力向上プログラム」指導・研究協力  
委託元機関：箕輪町立箕輪中部小学校／担当：スポーツ健康学科 岩間英明准教授
- f) 平成27年度キラリ☆アクア健康教室  
委託元機関：筑北村／担当：人間健康学部スポーツ健康学科 根本賢一教授
- g) 平成27年度「親子ふれあい遊び」  
委託元機関：木曾町／担当：スポーツ健康学科 犬飼己紀子教授・岩間英明准教授
- h) 生坂村連携・協力協定による活動
- ・生坂中1年生対象の体力調査、運動指導／担当：スポーツ健康学科 岩間英明准教授
  - ・インターバル・ストレッチ教室／担当：スポーツ健康学科 田邊愛子専任講師
  - ・域学連携活動「こたろう大学『生坂あそび隊』」／担当：スポーツ健康学科 犬飼己紀子教授
  - ・みんなであそぼう(全11回)／担当：スポーツ健康学科 中島弘毅教授
  - ・生坂村通学合宿における食育活動／担当：健康栄養学科 廣田直子教授
- i) 平成27年度 安曇野市子ども学習支援事業  
委託元機関：安曇野市／担当：観光ホスピタリティ学科 尻無浜 博幸教授
- ③松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト活動支援業務(運営管理と会計処理)  
(8月からの活動については、文部科学省「平成27年度緊急スクールカウンセラー等派遣事業」における、石巻市の再委託先として活動した)  
大街道小学校児童・保護者・教職員に対するカウンセリングおよび児童への学習支援活動
- ・カウンセリング／10回(26.4月～27.3月)
  - ・学習支援／17回(26.5月～27.3月) 参加学生数延べ102名 教職員延べ11名  
児童数延べ 1年84名・2年205名・3年53名・4年77名・5年104名・6年36名(合計559名)
- ④『地域総合研究第16号』発刊  
Part1(9月30日)  
Part2(11月30日)
- ⑤外部研究員2名の活動
- ①中野和朗 キャリアスクール テーマ「ファウスト」※資料の作成
  - ②建石繁明 新聞等への投稿活動
- ⑥その他
- ・講演会、シンポジウム、フォーラム等のバックアップを行った。
  - ・地域総合研究センター規程の改訂を行った(6月1日施行、4月1日より適用)。
  - ・受託事業取扱い規程の改訂を行った(平成28年4月1日から施行)。
- また、これに併せて受託事業受入申込書、受託事業完了報告書の整備を行った。

## (2) 研究倫理委員会

### (a) 委員会開催

平成27年5月19日(火) 16:50～18:00

- (1) 委員会では、ヒトを対象とした申請研究が倫理的・法的小および社会的観点から適正に遂行されるための要件を満たしているかを審議すること、加えて、本年度は全国の大学に対する研究倫理教育の実施初年度であるため、全教員・院生に対する研究倫理の啓蒙・普及を行うことを目的とすることを確認した。
- (2) 学長が指名する大学院および各学部から選出された教員として山田一哉教授、室谷心教授、矢崎久准教授、河野史倫准教授、糸井重夫教授を、研究に関する倫理的および法的事項を総合的に判断するにふさわしい識見を有する者として増尾均教授、福島智子准教授を、一般の立場を代表する学外者として瀬川格淳(専称寺住職)を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3) 下記の2件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

- ①「食を伝える新しい異世代間地域ネットワークづくりのための参加型アクションリサーチ」  
大学院健康科学研究科 廣田 直子教授
- ②「保健指導員活動の意義と支援のあり方について」  
大学院健康科学研究科 今井 三枝子院生

平成27年7月7日(火) 16:50~17:15

- (1) 下記の3件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
  - ①「トレーニングを行う中高年を対象としたペプチドの筋力増強作用に関する研究」  
大学院健康科学研究科 呉 泰雄准教授
  - ②「大学生の生活習慣病のリスクに関する研究」大学院健康科学研究科 江原 孝史教授
  - ③「小学生の口唇力と体力の関係」人間健康学部スポーツ健康学科 中島 節子専任講師
- (2) 倫理審査委員会報告システム操作マニュアルにしたがって、情報公開することを確認した。

平成27年9月1日(火) 16:50~17:23

- (1) 下記の2件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
  - ①「血液検査からみた高校硬式野球部員における望ましい体重増加量」  
人間健康学部健康栄養学科 石澤 美代子助手
  - ②「世帯および地域の社会経済的要因が食生活や健康状態に絶える影響-栄養疫学的検討」  
大学院健康科学研究科 廣田 直子教授

平成27年11月5日(木) 16:50~17:20

- (1) 下記の申請について審議し、修正後承認することを確認したが、のちに新たにサンプルを採取しないことが明らかになったため申請が取り下げられた。
  - ・「ALDH2遺伝子多型とパッチテスト、飲酒行動の関連性について」  
人間健康学部健康栄養学科 沖嶋 直子専任講師

平成27年12月15日(火) 17:30~17:40

- (1) 下記の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
  - ・「中高年を対象としたペプチド飲料摂取における体感調査」  
大学院健康科学研究科 呉 泰雄准教授

## (b) 事業・活動

平成27年4月1日(水) 14:00

- ・合同教授会において、研究推進委員会とともに、研究倫理教育の日本学術振興会編集の「科学の健全な発展のために-誠実な科学者の心得-」を全教員に配布するむね周知した。

平成27年4月8日(水) 13:30~15:00

- ・大学院必修科目の「健康科学特論」の第1回目に研究倫理に関わる講義を行った。

平成27年7月23日(木) 11:20~12:50

- ・研究倫理委員会主催で研究倫理に関する講習会を開催した。  
講習会「標本データと仮説検定のしくみ」講師:総合経営学部 林昌孝教授

平成27年8月7日(金)

- ・山田一哉委員長が、地域科学研究会高等教育情報センター主催の「研究倫理教育の責務とプログラム展開Ⅳ」に参加・情報収集した。

平成27年11月27日(金)

- ・山田一哉委員長が、学術研究フォーラム 第7回学術シンポジウム「科学研究のよりよき発展と倫理の確立を目指して」に参加・情報収集した。

## 1) 動物実験部会

### (a) 部会開催

平成27年4月15日(水) 9:40~10:30

- (1) 部会では、従来通り動物実験の審査を厳格に行うことに加えて、公私立大学実験動物施設協議会

による外部評価の受審に向けた規程改訂や体制整備等を行うことを目的とすることを確認した。

- (2) 動物実験等に関して優れた識見を有する者として山田一哉教授、河野史倫准教授、川島均准教授を、倫理等の学識経験を有する者として、福島智子准教授を実験動物管理者として、羽石歩美助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3) 下記の5件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
  - ①「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム」  
大学院健康科学研究科 河野 史倫准教授
  - ②「マウス走運動習慣はストレス時の海馬microRNA発現量に影響するか」  
松商短期大学部 川島 均准教授
  - ③「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」  
大学院健康科学研究科 高木 勝広教授
  - ④「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」  
大学院健康科学研究科 山田 一哉教授
  - ⑤「生化学実験（健康栄養学科2年生後期）」  
大学院健康科学研究科 山田 一哉教授

平成27年5月7日（木） 15:10～16:00

- (1) 「松本大学動物実験規程」、「松本大学動物実験規程の利用細則」、「松本大学動物実験規程に関する動物実験委員会内規」および「松本大学動物実験規程の運用」を改訂した。
- (2) 全委員による巡視を経た後、動物飼育室および松本大学動物実験室を飼養保管施設ならびに実験室として設置することを承認した。
- (3) 規程や動物実験教育訓練講習会開催、平成26年度使用動物数および動物実験部会委員会構成が大学HPにて公表されることを確認した。

平成27年6月4日（木） 15:10～15:25

- (1) 「動物実験に関する自己点検・評価報告書」を承認するとともに、大学HPにて公表されることを確認した。

#### (b) 事業・活動

平成27年5月20日（水）

- ・動物慰霊祭を挙行了した。

平成27年6月12日（金）

- ・公私立大学実験動物施設協議会総会に部会長山田一哉教授と実験動物管理者羽石歩美助手が参加した。

平成27年6月13日（土）

- ・公私立大学実験動物施設協議会が開催した平成27年度第1回研修会「実験動物管理者の教育訓練」を実験動物管理者羽石歩美助手が受講し、修了証を受領した。

平成27年7月30日（木）

- ・教職員・院生向け教育訓練を実施した。

平成27年8月21日（金）

- ・公私立大学実験動物施設協議会が開催した平成27年度第2回研修会「実験動物の基礎的取扱いおよび動物実験の基礎技術研修」を羽石歩美助手が受講し、修了証を受領した。

平成27年9月29日（火）

- ・学生向け教育訓練を実施した。

## 2) 遺伝子組換え実験安全部会

### (a) 部会開催

平成27年4月15日（水） 9:40～10:30

- (1) 部会では、遺伝子組換え実験が安全に行われるように、遺伝子組換え実験計画および実験施設

の審査を厳格に行うこと、および規程等の改訂を行うことを目的とすることを確認した。

- (2) 遺伝子組換え実験等に関して識見を有する者として山田一哉教授、河野史倫准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子准教授を、学長から任命された安全主任者として浅野公介助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3) 下記の7件の申請について審議し、承認した。
  - ①「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」  
大学院健康科学研究科 河野 史倫准教授
  - ②「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」  
大学院健康科学研究科 山田 一哉教授
  - ③「新規転写因子ファミリーZHXの生物学的役割の解析」  
大学院健康科学研究科 山田 一哉教授
  - ④「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」  
大学院健康科学研究科 高木 勝広教授
  - ⑤「時計遺伝子と長寿遺伝子の発現相関は、糖代謝調節に関わるか？」  
人間健康学部 浅野 公介助手
  - ⑥「ZHXファミリーとBETファミリーの相互作用メカニズムと生物学的役割の解析」  
人間健康学部 羽石 歩美助手
  - ⑦「酵母の形質転換(教育目的実験)」 大学院健康科学研究科 高木 勝広教授

平成27年5月7日(木) 15:10~16:00

- (1) 「遺伝子組換え実験安全管理規程」および「松本大学遺伝子組換え実験安全規程に関する内規」を改訂した。
- (2) 委員全員による巡視を経て、遺伝子組換え実験施設として理化学実験室、動物実験室、動物飼育室を承認した。

### 3. 入試広報部門

#### (1) 入試委員会

入試委員会は各学部・学科の代表者6名ならびに入試広報室職員によって構成される。平成27年度は総合経営学部総合経営学科の代表者が入試委員長を務めた。

入試委員会の業務は、大きく①学生募集関連業務（オープンキャンパス、総合パンフレット、高校訪問等）と、②入学試験関連（入試問題の作成と内容の確認、入学試験の実施と試験結果の判定等）となっている。

また入試委員会の下部組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討部会がある。

##### (a) 委員会開催

平成27年6月21日（日）

###### ①入試評価基準の策定について

学力を校正する重要な3つの要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を踏まえた多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施基準について、策定案に基づき審議され、承認された。

###### ②募集要項（サイト）の確認依頼について

募集要項サイトについて、6月下旬の公開にあたり、入試委員・関係各位（学部長・学科長・事務局長・総務課長）による1週間程度の内部確認期間を設けることが承認された。

平成27年7月27日（月）

###### ①指定校推薦の現状について

県内外の高校への案内が完了し、各高校の状況や要望の確認がなされた。そのうえで条件や枠数の変動については各学部判断により適宜対応していくことが確認された。

###### ②学生募集における各入試の適正性について

学部学科ごと、2015年度入学生のプレイスメントテスト実施結果を基に適正性の確認がなされた。入試区分毎・科目毎の分析から、本年入試の適正性について承認がなされた。

###### ③被災者・障がい者への特別支援制度認定について

スポーツ健康学科1年生への東日本大震災被災者支援制度適用について審議がなされ、過去の事例から半壊の対象者として授業料半額免除（後期から）が承認された。

障がい者の受入については、まずはオープンキャンパスに来学し特別なサポートを必要としないで修学できるかどうかを、学科長・入試委員と相談のうえ個別に判断することが確認された。

###### ④2017年度大学案内の制作について

次年度の制作方針が審議され、2017年度入学生に向けて反映すべき各学科の変更事項などを年内を目処に提出するようスケジュールの確認がなされた。

###### ④一般入試における英語・国語の新課程について

英語の新課程科目について検討がなされ、募集対象高校の履修状況などから、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱを出題範囲とすることが承認された。

国語については、新旧課程の国語総合の科目内容について、9月中を目処に作題者に確認することが承認された。

###### ⑤学生募集要項WEB化について

WEB化に伴い、以降紙の要項資料の配布がないことや（AO説明会などでも）、スムーズな説明対応のためにサイト構造に慣れておくことなど、活用促進の依頼があった。

平成27年12月24日（木）

###### ①次年度計画について-入試-

次年度入試日程について提出された素案の計画案が承認された。

各学科における一般入試科目の適正について本年度通りで良いか確認するよう依頼がなされた。



入試問題の作成およびチェックについても第三者機関を通すなど改善の検討をすることが承認された。

松商学園高等学校に対して系列校進学制度を設け、内部進学を入試制度の導入について提案がなされ、年度内には概要を策定することが承認された。

また、本年度の地方一般入試について、リスク回避を目的とし、従来の2人体制から3人体制へと拡張することが承認された。

②次年度計画について-オープンキャンパス-

次年度オープンキャンパスの日程について提出された素案の計画案が承認された。

また広告物制作取扱業者としてコンペの結果、アド・コマーシャル(株)が選定されたことが報告され、承認された。同時に次年度予算は教育学部対応を別としながらも对本年度費2%減が目標であること、予算投下の広報戦略は県内中心とすることが承認された。

③次年度計画について-その他-

次年度大学案内の取材対象について意見交換がなされ、基本内容について承認がなされた。

WEBキャリア図鑑へ各学科で積極的に出稿を進めることが確認された。

④補正予算について

初期の予算設定範囲内で収まることが報告され、承認された。

⑤1/24(日)掲載、信濃毎日新聞15段広告について

1/24(日)掲載、信毎全県版15段カラーの学生募集シリーズ広告について概要が報告され承認された。今回は地域連携活動をテーマとし、学部毎に積極的に活動をされている教員を学部毎に1名選出し掲載すること、またその原稿の寄稿について依頼がなされた。

平成28年3月9日(水)

①大学案内について

4/15原稿締切、5/20納品予定のスケジュールが確認された。また掲載内容について過年度とするか次年度とするかは、公表可能時期が異なるため学科毎の判断とすることが確認された。

②一般・センター入試科目の適正について

科目試験の適性について、5月の学部教授会で審議し決定することが確認された。

③松商学園高等学校の系列校進学制度について

高校側とヒアリングをしたうえで早期に要望をまとめ、本年度の実施内容を策定することが確認された。また当入試は特定の対象となるため、募集要項などでの一般公表はせず、直接的な説明および入試とすることが確認された。

④松商学園高等学校の既卒者の入学金免除制度について

条件の明確化が協議され、制度本来の目的を鑑み、「松商学園高等学校および松本秀峰中等教育学校卒業見込みの生徒を対象とする」という案が提案された。全学協議会を経て理事会で審議することが確認された。

⑤特待3種の運用について

次年度入試委員会において、枠数の明確化など運用について留意検討することが確認された。

⑥兄弟姉妹で同時受験する場合の入学金免除制度適応について

現在の兄弟姉妹入学金優遇制度「兄弟姉妹が松本大学あるいは松商短期大学の在学生または卒業生という者」に文言を追加し、「兄弟姉妹が松本大学あるいは松商短期大学の在学生または卒業生、入学予定者という者」とし、規程を拡張させることが提案された。

⑦強化部重点部の選手募集について

合否および学科選択ならびに特待生資格について部の独断で返答することは避け、入試委員会に事前相談をし、判断・手順を仰ぐことが確認された。

⑧紙の募集要項の廃止について

本年度、全入試のWEB出願導入とともに、初年度対策として設けた一般およびセンター利用入試用の紙の募集要項冊子については、費用削減や入試の複雑化回避という面からも当初予定通り次年度

は廃止とし、WEB出願一本化することが確認された。

同時に、WEB出願割引を含む受験料の設定については、次年度入試委員会で検討することが確認された。

- ⑨外部英語検定による推薦入試・AO入試の入試判定制度導入の検討について  
導入の有無、内容、時期について、次年度入試委員会で検討していくことが確認された。
- ⑩推薦・AO入試の入試改革検討について  
推薦入試およびAO入試において、学習能力の確認を目的とする試験の導入について、次年度入試委員会で検討していくことが確認された。
- ⑪入学試験成績の開示について  
募集要項段階で入学試験成績開示の案内を出すことが審議され、素案が提出された。  
必要性の有無と内容については次年度入試委員会で検討していくことが確認された。
- ⑫入試当日の施設立ち入りについて  
施設毎の関係者以外の立ち入りについて明確にすることが提案され、事前にメールなどで一斉案内するなど対策をすることが確認された。
- ⑬大学の入試日程・定員について  
総合経営学部およびスポーツ健康学科の編入学について、定員が10名から5名に変更となること、編入学試験を9月にⅠ期、12月にⅡ期として実施することが確認された。

## (b) 事業・活動

### 1) オープンキャンパスの実施

高校生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学ならびに学部学科の魅力を訴えるとともに、様々な相談に対応し、受験者の獲得に努めた。なお、日程ならびに動員数については、入試広報室の項を参照されたい。

### 2) 授業公開の実施

前後期にそれぞれ1回、高校生とその保護者に対して通常講義を見学して頂く授業公開日を設定した。なお、具体的な日時および動員数等については入試広報室の項を参照されたい。

### 3) 大学外での模擬講義・模擬面接の実施

大学外、その多くは高等学校内で実施される模擬講義ならびに模擬面接に多く参加した。なお、具体的な日時や回数および動員数等についてはⅢ-1-⑤高等学校での出前講義、V-5入試広報室の項を参照されたい。

### 4) 大学外でのガイダンスの実施

大学外で実施された大学・学部・学科の説明会に多く参加した。なお、具体的な日時や回数および動員数等についてはV-5入試広報室の項を参照されたい。

## 1) 入試問題検討部会

### (a) 部会開催

平成27年5月10日(日)

- 1) 全作題者ならびに全担当教員が出席し、顔合わせと自己紹介を行った。
- 2) 入試委員長ならびに入試広報室より前年度入試における問題点ならびに平成28年度入試における情報提供等を行った。
- 3) 教科ごとに作題者ならびに担当教員が集まり、打ち合わせを行った。その際、担当教員より、A) 出題の基本的な考え方、B) 前年度入試から変更内容、等について、詳細な要望が作題者に伝えられた。
- 4) 教科ごとに試験問題作成完了に至るまでのスケジュールを決定した。

### (b) 事業・活動

#### 1) 作題案の確認と修正

上記(1)の部会における大学からの要請を受け、作題者が作題を行った。その後、各担当教員との間で、その内容に関する意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正を行った。各担当

教員の了承を得た上で、最終作題案が決定された。

## 2) 最終作題案のチェック

最終作題案に対し、担当教員はもちろんのこと、複数の事務職員も交えて、最終作題案の内容に関する確認作業を行った。この段階でもいくつかの修正点が発見され、作題者との話し合いを経た上で、修正を行った。このような経過を経た上で、試験問題の作成が完了となった。

## (2) 全学広報委員会

広報委員会は、各学部学科から教員8名、入試広報室から職員4名の総勢12名からなる。基本業務は、公式ウェブサイトの運営管理と学報「蒼穹」の編集発行（年4回）で、平成27年度の委員会は、「蒼穹」の構成案等を検討するタイミングで4回開催された。

### (a) 委員会開催

平成27年4月28日（火） 9時40分～11時 第4会議室

- 1) 「蒼穹vol.119」についてページ構成案の確認がなされた。
- 2) 大学ブランドの告知を伴うような広報展開をしていくべきという意見が出され、確認された。
- 3) 教育活動の取り組みや事業報告などを広く訴求し、学生募集や地域理解に繋げるべく、WEBへ積極的に寄稿していくことが確認された。

平成27年8月2日（日） 16時30分～17時30分 第4会議室

「蒼穹vol.120」についてページ構成案の確認がなされた。

平成27年11月2日（月） 15時10分～16時40分 第4会議室

「蒼穹vol.121」についてページ構成案の確認がなされた。

平成28年1月26日（火） 13時30分～15時00分 第4会議室

- 1) 「蒼穹vol.122」についてページ構成案の確認がなされた。
- 2) WEBキャリア図鑑の原稿集めに関して、次年度からはキャリアセンターと連携し、内定報告の段階で学生に寄稿を促すような仕組み作りをすることが提案され、就職委員会と相談し進めることが承認された。

## (3) 高大連携推進委員会

### (a) 平成26年度の委員会の運営

高大連携推進委員会は、各学部から3名の教員が委員となり、管理課の職員が事務局となっている。高大連携の取り組みは各学部毎に目的や方法が大きく異なることもあり、意思決定の迅速化を確保する意味からも、各学部の主体的な取り組みを委員会全体として共有し、必要な場合に相互に支援することを原則としている。また、委員数が少ないこともあり、委員会の運営は主としてメール等でコミュニケーションを図り、具体的な取り組みに力を注いでいる。

### (b) 平成26年度の活動内容

#### 1) 新たな協定の締結

1月21日（火） 「松本大学と長野県商業教育研究会の連携に関する協定」締結（於：松本大学）

3月1日（土） 「松本大学・松本大学松商短期大学部と長野県南安曇農業高等学校との連携に関する協定」締結（於：松本大学）

#### 2) 総合経営学部の取り組み

##### ① デパートサミット（マーケティング塾・デパートゆにっと）

長野県商業教育研究会が主催する「マーケティング塾」を、本学が地域の人材育成という観点から全面的にバックアップした。また、毎月本学において関係する高校の教員と大学の担当者が出席して実行委員会が開催され、マーケティング塾の内容やデパートサミット全体の運営について検討を行った。

2014年12月23日より開始された第3期マーケティング塾は2014年度に2回、2015年度に6回行い、8月18日～19日にながの東急百貨店で合同販売会「デパートゆにっと」を開催した。さらに第4期マーケティング塾は、2015年度に3回実施した。

またデパートサミット事業に高校時代に参画して本学に進学した学生を中心にデパートサミット事業を支援することを目的とした学生組織「ゆにまる」が結成され、マーケティング塾における運営アシスタントを担うとともに「ゆにまる」として商品開発を行ないデパートゆにっともに参加した。

<マーケティング塾 第3期>

4月25日(土) 第4回マーケティング塾 (於:松本大学)

講義「事例から学ぶブランド戦略」株式会社スドージャン 米山 聡氏  
グループワーク「商品開発」

5月30日(土) 第5回マーケティング塾 (於:松本大学)

講義「コンセプトからの行動と表現」株式会社ビークス 岡田 義彦氏  
プレゼンテーション演習「商品企画発表」

6月13日(土) 第6回マーケティング塾 (於:松本大学)

演習「販売員マナー」株式会社ながの東急百貨店 若林 雅美氏

7月18日(土) 第7回マーケティング塾 (於:松本大学)

パネルディスカッション 株式会社ながの東急百貨店 大澤由貴子氏・長野県教育委員会 有賀 浩氏・アベニュー・ドゥ・リベルテ橋倉 橋倉 圭子氏・商品開発プレゼンテーション

8月10日(月) 第8回マーケティング塾 (於:長野商業高校)

講習会「POPと金銭授受」

<マーケティング塾 第4期(継続中)>

高校生が11校から75名、教員27名が参加。第4期より南安曇農業高校がオブザーバーとして参加して商業高校の高校生とともに学び、連携して商品開発に取り組んでいる。

12月23日(水) 第1回マーケティング塾 (於:松本大学)

パネルディスカッション

講演「銀座ながのからの発信」穂高商業高等学校 跡部 徹先生  
地区別グループワーク研修 「マーケティング塾で取り組みたいこと」

2月11日(木) 第2回マーケティング塾 2016年 (於:松本大学)

講義「地域資源を活かすブランドづくり」松本大学 山根宏文教授  
グループワーク演習Ⅰ「リーダーとして何が必要か?」畑井浩文准教授 向井健専任講師・グループワーク演習Ⅱ「地域を洗い出す」

3月21日(月) 第3回マーケティング塾 (於:松本大学)

講義「ブランドのつくり方」株式会社スドージャン 米山 聡氏  
グループワーク演習Ⅰ「地域産品のブランド化」  
グループワーク演習Ⅱ「ブランド化できそうな商品の絞り込み」

<デパートゆにっとも>

8月18日(火)~19日(水) (於:ながの東急百貨店)

長野県商業教育研究会と松本大学が共催し、「マーケティング塾」の成果を発表する場として、高校生自身が開発・アレンジした商品約90種類を販売した。

県内の10校から高校生53名、教員23名が参加した。また県外より4校の高校も参加した。

<バレンタイン・スイーツ~バレンタインまで待てない~>

1月30日(土) 商品発表会 (於:井上百貨店アイシティ21、1階モール中央イベント広場)

2月6日(土)~7日(日) 販売会 (於:井上百貨店アイシティ21、1階モール中央イベント広場)

主催:松本大学、共催:デパートサミット実行委員会・(株)井上百貨店

参加:県内高校生(諏訪実業高校・辰野高校・穂高商業高校・松商学園高校・丸子修学館高校・飯田長姫OIDE高校・長野商業高校)および松本大学学生(観光ホスピタリティ学科白戸ゼミ・健康栄養学科矢内ゼミ・松商短期大学部金子ゼミ)の約50名

②地域人教育

総合経営学部より延べ6名の教員が高校にて講義を行ったほか、松本市内におけるフィールドワーク

実習やリヤカー販売実習、飯田市内におけるフィールドワーク、高校生の活動を大学生が評価する交流事業などを実施した。また、地域人教育の円滑な推進のために、高校教員や飯田市職員との協議や学習会、研修などを行い、信頼関係を構築するとともに、事業の目的などの共通理解を図った。

### ③ 梓川高校・田川高校と地域の連携教育への支援

梓川高校には、観光ホスピタリティ学科から5年前より福祉の科目について教員を講師として派遣している他、学校評議員会にも委員を派遣している。

また、田川高校については、7月に開催される「村井商工祭」において、高校生と大学生のコラボレーションによるカフェ等の出店を実施した。

## 3) 人間健康学部の取組

### ① 岡谷東高校との連携事業

岡谷東高校健康スポーツコースの高校生が、本学において大学の専門科目を受講しながら、学食利用などのキャンパスライフを体験する内容で連携事業を実施した。模擬講義の内容は以下のとおりである。

6月30日(火) 1年生対象

「スポーツにおけるこころのあり方」齊藤 茂・「運動の脳に及ぼす影響」中島弘毅・「肥満について」江原孝史

7月2日(木) 2年生対象

「レクリエーション・GWT」犬飼己紀子・「スポーツ栄養学」呉 泰雄・「体力について」田邊愛子

9月10日(木) 1年生対象

「スポーツを学ぶということ」岩間英明・「養護教諭・健康」中島節子・「スポーツおもしろ講座」等々力賢治

9月11日(金) 2年生対象

「スポーツ法学」新井喜代加・「宇宙生理学」河野史倫・「体力測定と評価」根本賢一

## 4) 松商短期大学部の取り組み

夏と春のチャレンジ型連携、年間を通したグレードアップ型連携を実施した。

### ① 大学授業チャレンジ型連携

ア) 松商学園高校商業科(延べ約400名)

7月14日(火) 「マーケティング」金子能呼・「経営分析」山添昌彦

7月15日(水) 「国際コミュニケーション」糸井重夫・「ブライダル入門」小澤岳志

7月16日(木) 「金融の基礎」藤波大三郎・「医療事務」浜崎 央

イ) 穂高商業高校(77名)・29日のみで諏訪実業高校(21名)

7月29日(水) 「マーケティング①」金子能呼・「銀行論①」藤波大三郎・「キャリアクリエイト①」糸井重夫・「経済学入門①」山添昌彦

7月30日(木) 「パソコン演習①」浜崎 央・「Excel経営分析①」山添昌彦・「マーケティング②」金子能呼・「経営分析①」山添昌彦

7月31日(金) 「会計学入門①」香取智宜・「銀行論②」藤波大三郎・「高校からの進学・就職を考える」中村文重

ウ) 穂高商業高校(76名)・諏訪実業高校(10名)

3月14日(月) 「実業高校からの進学・就職を考える」中村入試広報室長・「経済学入門②」糸井重夫・「銀行論②」藤波大三郎・「マーケティング③」金子能呼

3月15日(火) 「銀行論④」藤波大三郎・「パソコン演習②」浜崎 央・「会計学入門②」香取智宜・「キャリアクリエイト②」糸井重夫

### ② 高校授業グレードアップ型連携

4月13日(月)～1月25日(月) 毎週月曜日、2・3時限目(10時20分～12時10分)・全24回

対象:長野県穂高商業高等学校において既に日本商工会議所簿記検定2級を取得したか、それと同程度の実力があると認められる生徒

内容：本学教員が同校に週1回出向いて日商1級の「商業簿記・会計学」「工業簿記・原価計算」を講義

本学担当：山添昌彦・香取智宜

参加人数：40名（過去最大）

#### (4) センター入試委員会

センター入試委員会は、本学キャンパスを平成28年度大学入試センター試験の試験会場として運営するための準備と運営、大学入試センターや他試験場との調整を主な業務として活動してきた。当年度は、各学部学科から教員6名、職員5名の委員構成となった。

平成28年度のセンター入試は新課程科目2年目にあたり、前年度に行われた新旧課程科目での試験実施から新課程科目のみの実施に変わったことで、監督業務の負担軽減が期待されたが、本試験会場への割当人数が前年比増となり、教室が1室増加する結果となった。限られた数の監督者を各試験室へ割り振る調整が試験当日間際まで難航したが、入試業務は無事問題なく運営することかできた。

##### (a) 会議

###### (1) 第1回長野県地区連絡会議

平成27年6月22日（月） 信州大学松本キャンパス

県内各試験場における志願者推計数と収容数の割当およびグループ化について確認  
障害等のある受験生への対応、リスニング予行演習に伴う機器の取扱いについて検討

###### (2) 第1回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会

平成27年8月18日（火） メルパルク東京

大学入試センターより平成28年度試験実施内容の解説

###### (3) 第2回長野県地区連絡会議

平成27年8月25日（火） 信州大学松本キャンパス

県教育委員会からの依頼により下伊那地区の試験会場の開設について検討  
次年度へ向けた懸案事項とすることを確認

###### (4) センター入試委員会

平成27年11月12日（木）

学外参加会議の報告と当年度試験の変更点の確認

本学試験会場の試験室、控室、救護室の確認

監督者等の配置基準の検討

監督者会議およびリスニング予行演習に向けた各委員の役割分担の検討

監督者会議およびリスニング予行演習の進行と説明内容の確認

###### (5) 第2回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会

平成27年12月1日（火） メルパルク東京

大学入試センターより試験当日の留意点の解説

文部科学省より大学入試センター試験利用入試に関わる留意点の解説

###### (6) 第1回監督者会議

平成27年12月2日（水）

監督者に向けた業務内容の概説

###### (7) 第1回リスニング試験予行演習

平成27年12月9日（水）

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験実施方法の解説

###### (8) 第2回リスニング試験予行演習

平成27年12月24日（木）

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験の事故対応解説

###### (9) 試験問題の受取・仕分作業

- 平成28年1月7日(木)  
問題冊子と解答用紙の仕分けと保管
- (10) スタッフ会議  
平成28年1月14日(木)  
監督者以外の業務に付くスタッフ間での連絡会議
- (11) 第2回監督者会議  
平成28年1月15日(金)  
監督者に向けた業務内容の詳説
- (12) 試験会場設営準備作業  
平成28年1月15日(金)  
各試験室の設営と検査
- (13) センター入試業務の実施  
平成28年1月16日(土)・17日(日)  
試験業務の実施  
解答用紙のチェックと保管
- (14) 第3回長野県地区連絡会議  
平成28年3月28日(月) 遠隔会議システム利用  
懸案事項であった下伊那地区の試験会場の開設について信州大学が飯田高校で担当する案が示され採択

## 4. 管理部門

### (1) 全学協議会

学長、副学長、各学部長・学科長ならびに事務局長および総務課長、学生センター長を構成員とする全学協議会は、平成23(2011)年度の組織改革の中で、最高意志決定権者である学長の下に設置された学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関と位置付けられた。以降、短期大学部も含めた学部横断的課題・事項について審議・結論を得ると共に、各種報告事項についても適宜取り扱い情報の全学的共有化に努めてきている。

今(平成27)年度も、上記の設置主旨を踏まえ、当該月に開催された全学運営会議で事前に確認、整理された審議事項について慎重に審議し決定すること、ならびに報告事項について適切かつ適確に周知を図るべく努めた。とりわけ、前年度に一年前倒しを決定した日本高等教育評価機構による第三者評価受審に向けた「自己点検評価書」の作成ならびに諸規程の整備、既存学部・短期大学部の改革・改変に対する連携しての取組、平成29(2016)年4月の教育学部・学校教育学科開設に関連する人事、ならびに教育課程整備など、それぞれ関連する諸業務の円滑な推進に主導的役割を果たすべく取り組んだ。

以下、各回会議において審議・承認された事項を中心に、今年度の活動状況を概観する。

#### (a) 会議

第1回 平成27年4月22日(水)

##### ①第三者評価に向けて

「自己点検評価書」の作成状況が報告された後に、第三者評価に関連する下記の各規程・内規・要項について提案、説明がなされ、それぞれ承認された。

a) 松本大学地域総合研究センター規程、b) 松本大学研究誌執筆要項、c) 松本大学個人情報保護に関する細則、d) 松本大学認証評価準備部会内規、f) 松本大学動物実験規程

##### ②将来計画(案)策定に向けて

###### 1) 学生募集に効果のあるコース名の設定

各学部長より、総合経営学部は学部長・学科長を中心に検討中で取りまとめの段階であること、人間健康学部は学科に分かれて検討中であること、短期大学部は4学期制の導入とカリキュラム改革の進め方を検討中であることが、それぞれ報告された。

###### 2) 教養教育の在り方について

資料に沿って学長私案が提示され説明がなされた上で、今後、共通教養部会に一つの検討案として示し、鋭意検討を進めるよう要請していくことが合意された。

##### ③AP申請とCOC+について

##### ④委員会議事録の書式統一について

第2回 平成27年5月27日(水)

##### ①諸規程の整備について

下記の各規程・内規について提案、説明がなされ、それぞれ承認された。

a) 学生スタッフに関する内規(手当について)、b) 松本大学遺伝子組換え実験安全管理規程、c) 松本大学遺伝子組換え実験安全管理規程に関する内規、d) 松本大学動物実験規程、e) 松本大学動物実験規程に関する動物実験委員会内規

##### ②競技優秀者(W杯、全日本クラス)に対する財政支援について

資料に基づいて、スキー・モーグル競技選手の学生について活動内容・競技成績等の説明がなされ、それを踏まえて授業料の半額を免除するⅡ種特待生としたいとの提案がなされ、承認された。

##### ③留学生の学生募集について

##### ④地域づくり考房『ゆめ』のこれからのについて

##### ⑤留学生の日本語教育の充実について

第3回 平成27年6月24日(水)



## ①松本大学FD・SD運営部会規程の改正について

資料に基づいて説明がなされ、①現行の「松本大学FD委員会規程」を「松本大学FD・SD運営部会規程」と改め、各条項にSDに関する内容を追補すること、および関連する条項の表記の整合性をとること等について提案され承認された。

## ②各種補助金申請について

## 1) 平成27年度私立大学等改革総合支援事業

## i) 学長裁量経費の予算化

平成27年度私立大学等改革総合支援事業調査票の中に学長裁量経費の有無について問う項目があることから、学長表彰等の実績を踏まえ、補正予算において学長裁量経費を計上することが提案され承認された。

## ii) GPAの用途

上記の調査票において、GPAを進級判定、卒業判定、退学勧告のいずれかの基準として使用しているかを問う項目があるため、今後の活用方法について教務委員会に検討依頼することが了承された。

## 2) 私立大学等経営強化集中支援事業

## 3) 私立学校施設整備費補助金

## 第4回 平成27年7月22日(水)

## ①認証評価に向けて(規程整備等)

## 1) 松本大学入学者選抜規程、ならびに松本大学松商短期大学部入学者選抜規程

資料に基づいて、現行規程の「入学者選抜会議」を実態に合わせて「入試判定会議」に改める提案がなされ承認された。

## 2) 学則第41条(改正学校教育法第93条関係)の「学長が定めるもの」

平成27年4月1日施行の改正学校教育法第93条第2項第3号、ならびに松本大学および松本大学松商短期大学部の学則第41条第2項第3号に定める「教育研究に関する重要事項で教授会の意見を聴くことが必要なもの」について、資料の提案がなされ承認された。

## ②私立大学等改革総合支援事業「タイプ1~4」について

## 1) 調査票の提出

## 2) 私立大学等教育研究活性化設備整備補助金の申請

## ③次年度からの図書館運営について

丸善株式会社との業務委託により専門知識を有する人材を得ることを第一義の目的に、同社からの説明内容を受け、本学の実情にあった形での業務委託契約に向けた調査を依頼することが提案され、平成28年2月から3月にかけて正式な契約を交わすことが承認された。

## ④ジャックスとの教育ローンの金利引き下げについて

## ⑤松本市との健康寿命延伸に関する協定について

## 第5回 平成27年9月30日(水)

## ①学長、総合経営学部長・両学科長、短期大学部長・両学科長の改選日程について

各職改選に係る選考スケジュールについて提案、説明、および選考委員選出の依頼がなされ、了承された。

## ②大学機関別認証評価に係る実地調査の段取りについて

## ③教育学部に係る採用人事について

教育学部開設に先駆けて、設置準備のために岸田 幸弘氏(昭和女子大学人間社会学部准教授、56歳)の採用が提案され、履歴書回覧の上で、2016年4月1日付けで採用すること、職位を教授とすること、所属を来年度1年間は人間健康学部スポーツ健康学科とすることなどが承認された。

## ④協定に基づく嶺南師範学院の留学生受け入れについて

## ⑤大学院の推薦入試制度導入について

## 第6回 平成27年10月28日(水)

## ①大学機関別認証評価：評価員候補の推薦について

総合経営学部より兼村教授、人間健康学部より福島准教授、事務局より西澤係長を、また、短期大学部については金子准教授を引き続き推薦したいとの提案がなされ、承認された。

## ②各学部・学科の将来構想の現状：各学部長

各学部長より将来構想に係る検討の進捗状況について報告がなされた。総合経営学部は各学科それぞれ4つの柱とする案、健康栄養学科は4コース案、スポーツ健康学科は従来の3本柱に「ヘルスケア」の視点を加味し、充実させていくことが検討されている。また、短期大学部については、フィールド・ユニット制を維持しつつ、4学期制を導入する方向で具体的検討に入っている。

## ③共通教養科目と教職科目について

総合経営学部観光ホスピタリティ学科に置いている社会科の教員免許に係る教職科目について、教養科目となっている科目が多く、課程の基準を満たしているか疑義が生じているとの説明がなされた。問題の解決については、教職センターから問題提起し、全学教務委員会において検討を進めるよう依頼したいとの提案がなされ、承認された。

## ④新村地区と松本大学の地域連携協定締結について

## ⑤学内競争的研究費の申請について

## ⑥大学院における学内推薦入試制度について

## 第7回 平成27年11月25日(水)

## ①平成29(2017)年度入学生用パンフレット作成に向けてのスケジュール確認

各学部が進めている将来構想について、高校生に向けたわかりやすいパンフレット作成を心掛け、遅くとも年内に取りまとめ、年明けには入試広報室に情報提供できるように進めて欲しい旨の提案がなされ、了承された。

## ②大学院講義の担当者補充について

大学院では、WHOが定義する「健康」に対応していくよう、人文科学や社会科学を含むより幅広いものとしていくことを構想しており、「QOL」や「こころ」、労働問題等も視野に入れ、今後、他学部の教員にも協力をお願いしたいとの要請がなされ、了承された。

## ③短期大学部定員および総合経営・人間健康学部の3学科編入学定員の削減について

資料に基づいて、定員削減に係る学則変更について説明がなされ、全学協議会としての意見を聴取し、学長が3学科の編入学定員および松商短期大学部の入学定員について減員することを決定した。

## ④第三者評価に係る外部評価委員の推薦について

前回の標記委員の推薦者について、上野准教授を免除することとしていたが、任期が残っていることから次年度も継続してもらうとの提案がなされ、承認された。

## ⑤松本山雅からの指導者派遣について

松本山雅が人件費を負担して監督を松本大学サッカー部に派遣するものである。以上に加え、それによる競技力向上、ならびに広報効果などが図れることからこれを進めたいとも提案がなされ、承認された。

## 第8回 平成27年12月24日(木)

## ①強化部・重点部・世界レベルの運動選手等の入学試験と特待生の扱いについて

標記の件について、次年度入試より、「戦力補充予定 候補者一覧」にポジション、特待の有無など候補者に関する情報を当該各部の部長が記載し事前に入試広報室に提出することが提案され、交渉相手の記入欄を設けることを加筆した上で、承認された。

## ②松本大学図書館情報機器利用規程について

図書館情報機器利用規程案について説明がなされ、審議の結果承認された。

関連して、各種「規程」の制定については、原案を当該委員会などで作成し、全学運営会議での検討を経て全学協議会で了承後、理事会に上程し承認を得るとの手順が確認された。

## ③平成28(2016)年度公務員採用試験対策総合講座について

今年度の受験状況、経費、来年度の計画案などについて説明がなされ、学部1年生講座を5月終わり

または6月初旬より開講することとし基礎教育センター・スタッフの協力を得て講座運営を行う、学部4年生講座について講座開講を2月に前倒しする、Web講座を導入し欠席者への補講機能を高める、専門講座の内容を一部見直しより本学の実情に添った構成とするなど、4点の主たる変更や改善を加えた来年度実施案が提案され承認された。

#### 第9回 平成28年1月27日(水)

##### ①学長裁量経費の使用について

私立大学等改革総合支援事業に対応して創設された学長裁量経費について改めて説明がなされ、その執行が了解された。本経費の一部は組織・団体に対する表彰的に使用することとし、今年度は、現役で初めて正教員採用者を輩出した教職センターを対象とすることが提案、了承された。

##### ②助手等の採用について

健康栄養学科の羽石助手の産休・育休取得に伴い、その代替措置として1年更新、最長3年任期とする「嘱託専任助手」を採用したいとの提案がなされ、承認された。また、増尾観光ホスピタリティ学科長より、緊急に実習補助や施設等の現場との連絡・調整役、国家試験対策支援等を担当する人材を任期付で採用したい旨の提案がなされ、職名、所属、待遇などについて今後事務局とも相談し確定していくことを前提に承認された。

##### ③中期目標・計画について

平成25年から平成30年までとして策定されている中期目標・計画について、修正意見を踏まえて修正版を作成したいとの提案がなされ、図書館および設置認可申請予定の教育学部について追記することなども併せて承認された。また、理解しやすいよう内容の骨子をビジュアル化した冊子を作成することなどについても確認がなされた。

##### ④平成28(2016)年度年間行事予定表について

別紙の「平成28(2016)年度 年間予定表(案)」にある一斉休校および教授会日程等について確認いただきたいとの提案がなされ承認された。

#### 第10回 平成28年2月24日(水)

##### ①「松本大学の研究活動における不正行為への対応に関する規程」の一部改正について

不正行為があった際に予算配分機関へも通知を求められていることから、これに対応するため規程の一部改正が提案され承認された。

##### ②「松本大学図書館ゲストカード運用規程」について

12月の第8回全学協議会において保留となっていたものであり、文言等を修正の上、提案され承認された。

##### ③TOEIC正課外講座の平成28年度実施について

正課外で実施したTOEICの講座について、受講者数・受験者数共に増加し、得点も上昇するなど十分に成果が出ていると判断できるため、来年度も引き続き正課外の講座を設けたいとの提案がなされ承認された。

#### 第11回 平成28年3月23日(水)

##### ①短期大学部の入学定員について

短期大学部の定員を平成29年度より各学科100名から80名に減員することが、平成27年11月25日(水)に開催された第7回全学協議会において承認されたが、長野県短期大学の募集停止に伴う影響を見定めること、および補助金をより優位に確保することに加え、今年度の学生募集が好調であることなどから、猶予を持たせて状況を確認するため2年程度見送りたいとの提案がなされ承認された。

##### ②平成28(2016)年度全学委員会構成(案)について

全学の各委員長および委員について、資料の通り任命したいとの提案がなされ、一部修正の上承認された。

##### ③「松本大学受託研究取扱規程(案)」ならびに「松本大学受託事業取扱規程(案)」について

これまで「受託研究」と「受託事業」との違いおよび手続きが不明瞭であったことから、既存の「受託研究取扱規程」を改正し「受託事業取扱規程」を新設することが提案され、両規程、申込書およ

び受託事業実施フローの文言の一部を修正した上で承認された。

- ④松本大学大学院長期履修学生規程について
- ⑤大学院入試について
- ⑥卒業生アンケートの取扱いについて

卒業生アンケートに、例年個人名を挙げて改善を求める意見が記されているケースが見受けられるため、本来のアンケートの趣旨に鑑み、教員については学長名で、評価されたものも含め該当者に記載事項を渡すことにしたいとの提案がなされ承認された。また、事務職員分については、局長名で同様にすることが確認された。

- ⑦強化部等(サッカー部・陸上競技部)のコーチ人事について

サッカー部コーチとして三澤氏を前任者と同じ条件で迎えたいとの提案がなされ、履歴書回覧の上、承認された。また、陸上部については、来年度は希望していないことが報告され了解された。

## (2) 自己点検・評価委員会

全40回開催された全学運営会議の中で、「外部評価」に関しては第1回から第20回までほぼ毎回、話題として取り上げられた。各章の担当者の選定から始まって、大凡どのような論調で執筆するかを確認して、担当箇所毎に分かれて取り組んだ。それを持ち寄って進捗を確認したり、必要に応じて「認証評価準備部会」の協力を得て、自己点検評価書の完成に向けて詳細に詰めることができた。

こうした内容で6月末には提出したが、それに対する質問事項に敏速に対応することや10月の現地調査に向けた準備もあったため、通常の3つの文書作成に時間を割く余裕はなかった。しかし、年度末近くにはなったが例年通りの報告書とレポートを完成することができた。

### 1) IR推進部会

教員の側では、全学運営会議の際に意見交換を随時行うことができた。しかし、職員は全学運営会議メンバーではないため、部会を開催しなければ教職協働で計画を実施することはできない。今年度は、教員職員共にオリジナルな部署の仕事が数多く、そこでの課題意識を持ち寄って合同で協議する時間が持てなかった。わずかに、職員個人と全学運営会議メンバーとが意見交換を行うことができただけであった。

### 2) コンプライアンス推進部会

4月1日(水)平成27(2015)年度合同教授会における取組

議題として「コンプライアンスについて」を挙げ、全員に「学校法人松商学園コンプライアンス行動規範」を配付し、学長より行動規範について説明がなされ、コンプライアンスについて依頼がなされた。

また、「研究活動における不正行為への対応に関する規程」、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」も配付し、全教員から確認書を提出してもらった。

さらに、全学的に研究倫理教育を推進するため、『科学の健全な発達のために』(丸善出版)を研究図書費から共通支出により購入し熟読することが確認された。

### 3) 認証評価準備部会

#### (a) 事業・活動

平成27年度における認証評価準備部会の活動は以下のとおりである。なお、部会は開催されておらず、もっぱら部会長が以下の業務を担当した。

- (1) 当学における認証評価受審に関する準備

当学が平成27年度に認証評価を受審するにあたり、自己点検評価書ならびに各エビデンスの整備において、各担当者に対し、必要に応じて指示・または助言を行った。その内容は制度の不備や新しい施策の導入といった大きなものから、語句の修正等の小さなものまで、多岐にわたっている。

- (2) 評価員としての他大学における認証評価の実施

平成27年度も、部会長が日本高等教育評価機構の評価員に選ばれ、他大学の認証評価を担当した。

最新の評価基準を理解することができ、上記(1)の当学の受審に対しても、重要な情報を得ることとなった。

### (3) 人権委員会：ハラスメント防止部会・個人情報保護部会

人権委員会は、ハラスメント防止部会、および個人情報保護部会の2部会で構成されており、委員は各学部学科からの教員委員8名、職員は学生課、教務課、情報センター、入試広報室、キャリアセンターの各部署から12名の総勢20名という組織である。年度当初の会議で、前年度からの引き継ぎ案件についてPDCAサイクルの確認を通して振り返り、あらためて27年度委員会職務についての共有を図った。その後、ハラスメント防止部会に委員13名、個人情報保護部会に委員7名の2部会を分担して担うこととし、委員会全体を機能させていくこととした。

#### (a) 委員会開催および事業活動

平成27年5月11日(月)

- ①委員会運営について職務分担の代表者を確認した。
  - ・人権委員会委員長：根本
  - ・ハラスメント部会長：根本
  - ・個人情報保護部会長：田中(浩)
- ②ハラスメント相談窓口の担当者の変更について確認した。
- ③新入生へのハラスメント防止のパンフレット配布について確認した。

平成27年5月26日(火)

- ④松本大学委員会規定大28条に従い、ハラスメント防止部会の推薦に基づいて、学長が7名の相談員(大学院担当含む)を任命した。

平成27年10月29日(木)

- ①人権委員会(ハラスメント部会)研修会について検討し、長野県精神保健センターの小泉典章氏を選出した。

平成27年11月30日(月)

- ①人権委員会研修会の平成28年2月実施を決定した。
- ②補正予算および次年度予算についての検討をした。

平成28年2月16日(火)

- ①人権委員会主催の研修会「今日のメンタルヘルスの課題」を実施した。

#### (b) その他：相談対応

平成27年11月～に相談窓口メールアドレスへの相談が1件あったが、即時対応した

### (4) 健康安全センター運営部会

健康安全センターの稼働7年目を迎え、学生・教職員の健康の維持増進、安全な学習・就業環境の充実を図った。

#### (a) 健康安全センター業務実績

##### 1) 学生の健康管理

- ①学生健康診断
  - H27. 4. 3～5：学生定期健康診断 1,831名
  - H27. 4.13～17：学生定期健康診断 尿再検査 113名
  - H27. 4.6～：胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導(5名)
  - 医師診察・尿検査 要精密検査該当学生保健指導(29名)
- ②学校感染症抗体検査
  - H27.4. 3、4、5：611名
  - 結果返却・事後指導
- ③保健師対応

H27. 4. 1～H28. 3.31 学生利用 実人数321名／延べ人数656名  
 急病・外傷などの応急手当、感染症発生対応、心身の健康相談など  
 医療機関移送 9件（健康安全センター・学生課）  
 ※保護者相談対応 実人数9名／延べ人数14名  
 ※来学者（入試・キャンパス見学会など）対応 実人数3名／延べ人数3名

④カウンセラー対応

H27. 4. 1～H28. 3.31 学生利用 実人数16名／延べ人数28名

2) 学生への健康教育

H27.4. 27人間健康学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ～それでも吸いますか」  
 H27.4. 30総合経営学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ～それでも吸いますか」  
 H27.5. 29健康栄養学科1年生 「大学生のメンタルヘルス」  
 H27.10.23健康栄養学科1年生 「管理栄養士・栄養士になる皆さんへ（他職種連携）」  
 H27.11.12健康栄養学科3年生 「チーム医療について（他職種を知る）」  
 H27.11.13健康栄養学科3年生 「アナフィラキシーショックへの緊急対応」  
 H27.11.17総合経営学部1年生 「知っておきたい外傷の応急手当」「感染症について」  
 ※心肺蘇生講習については別記。

3) 教職員の健康管理

①健康診断

H27.6. 3 教職員 定期健康診断（松本大学）61名  
 個別受診対応 1名  
 H27. 6.10教職員 胃検診（松本大学） 20名  
 H27.4月～ 教職員 人間ドック 64名  
 H27.6月～H27.7月 教職員定期健康診断・胃検診 保健指導 61名

②学校感染症抗体検査

H27.4. 3、4、5:5名

③保健師対応

H27. 4. 1～H28. 3.31 実人数45名／延べ人数67名  
 急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など

④カウンセラー対応

H27. 4. 1～H28. 3.31 実人数2名／延べ人数25名（内容：学生対応相談、その他）

4) 救護対応

キャンパス見学会（4/19、5/17、6/21、8/2、8/22、9/27、3/21）  
 H27.10.16～10.18 梓乃森祭  
 H27.11.14、15 推薦前期入試  
 H27.12.12、13 総合経営学部・短期大学部 推薦・編入他入試  
 H28. 1.16、17 大学入試センター試験

5) 安全な学習・就業環境の整備

①AED（自動体外式徐細動器）の整備

・日常点検の徹底  
 ・消耗品等適宜整備

②救急箱の整備・貸し出し

H27. 4. 1～H28. 3.31 貸し出し実績10件

6) 感染症対応

①インフルエンザ

ア) 松本大学インフルエンザ危機対策本部の設置  
 イ) 学内感染者の把握・情報収集

- H27.4.1～H28.3.31 インフルエンザ感染／学生13件・教職員3件
- ウ) 感染拡大防止対策
- ・発症者からの連絡に基づき、濃厚接触者への注意喚起
  - ・インフルエンザ予防接種の実施
- H27.12.5～ 教職員40名・学生71名（強化部・重点部）
- エ) 広報活動
- 感染拡大時に教職員一斉メールにて状況を周知、注意喚起
- 7) 学生寮の衛生管理
- ①松球寮（硬式野球部）、あずさ寮（女子ソフトボール部）の厨房における食中毒原因菌のテスト結果管理
  - ②あずさ寮調理員の検便管理
  - ③松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェックおよびアドバイス
- 8) 心肺蘇生法啓蒙活動
- 学生対象 心肺蘇生法講習会
- H26. 9.30 総合経営学部 1年生全員
- H26.12.18 健康栄養学科 3年生全員
- 9) 学会・研修
- H27.7.10 海外で学ぶ人／働く人の健康支援講演会（羽田空港TIAT SKY HALL）
- H27.7.21 ストレスチェック制度とメンタルヘルスに関する具体的対応策（松本東急REIホテル）
- H27.7.30～8.1 第53回全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会研究集会（東京女子医科大学）
- H27.9.19～20 ACLSプロバイダー講習（石川県立中央病院）
- H27.11.18 ストレスチェック対策と職場のメンタルヘルス実践セミナー（松本東急REIホテル）
- H27.12.10 深刻化するメンタルヘルス対策（ホテル国際21）
- H27.12.15 ストレスチェック義務化対策～「今」なにをすべきか～（東京八重洲カンファレンスセンター）
- 10) 全国大学保健管理協会
- H25.4.1～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 保健看護分科会 運営委員に保健師が就任
- H27.7.30 運営委員会（東京女子医科大学）
- H27.9.17 運営委員会（早稲田大学）
- H28.1.21 運営委員会（早稲田大学）

## (5) 施設管理センター運営委員会

平成27年度においては、大型施設の整備計画はなかったが、文部科学省の私立大学等教育研究活性化設備整備事業、私立学校等改革総合支援事業の補助金を活用し、次の教育環境の整備を行った。

### ①私立大学等教育研究活性化設備整備事業

- ・タイプ1「教育の質的転換」

大学：学生用端末プリンタ（4号館）、光学式マークシートリーダー、関連PC

短大部：1・2号館教室（125、126、331）の机・椅子の入替え、学生用PC、図書館アクティラーニングコーナーと書架の整備

- ・タイプ2「地域発展」

大学：総合グランドおよび女子ソフトボールグラウンドのLED照明設備

短大部：7号館コモンルームのラーニング・コモンズ機能（椅子等）の整備

### ②私立学校等改革総合支援事業

- ・ICT活用推進事業

大学：5号館教室の音響・映像設備およびインターネット環境の整備

## ③その他（補助金外）

- ・硬式野球部野球場および女子ソフトボール部グラウンドの散水栓の改修

**(6) 危機管理委員会**

現代社会における大学に求められるリスクマネジメントの対象となる事象は、非常に広範囲に亘るものである。全体を俯瞰すると、①大規模災害等への対処、②インターネット社会における情報セキュリティの確保、③研究倫理の定着とコンプライアンス、④キャンパスの安全確保とハラスメント対策に大別できよう。これらの課題に対する具体的な取組は、各分野を管轄する各委員と各部会で進められている。ここでは、各分野に対する本学としての全体方針を示す。

## ①大規模災害への対処

大学COC事業において、松本広域消防局、新村地区消防団と連携し、防災対策を推進していく。定期的に防災訓練を実施し、有事に備える。また、防災士養成講座の開講と正課授業をリンクさせ、防災・減災教育に取り組む。さらに、災害時に対応できる機器備品の整備にも継続的に進める。

## ②インターネット社会における情報セキュリティの確保

情報センター運営委員会と情報センターの職員による専門性の高い取組により、サーバーの学外移転、キャンパス・セキュリティ対策を計画的かつ迅速に進めていく。また、全教職員が学校法人松商学園情報セキュリティ・ポリシーに基づき、本学の情報資産を保護し、情報セキュリティの適正な管理を遂行していく。

## ③研究倫理の定着とコンプライアンス

研究倫理の関する諸規程の見直しを進め、我が国の研究倫理のガイドラインに沿うものとして整備していく。また、全教職員に対して、研究倫理に関する研修機会を提供し、高次の研究倫理観の醸成とその啓蒙に継続的に取り組んでいく。また、学校法人松商学園コンプライアンス推進規程および学校法人松商学園コンプライアンス行動規範の遵守を推進する。

## ④キャンパスの安全確保とハラスメント対策

既に整備している学内管理下の事故防止策や損害賠償責任に対する保険、実験・実習の安全管理と傷害保険等の点検をする。また、校舎、校地内の危険箇所の点検を進める。学生の通学に係る車輛（バイクを含む）運転による事故防止に向けた安全教育に取り組む。現在、運用しているキャンパスハラスメント防止の体制を点検するとともに、全教職員に対して、キャンパスハラスメント防止意識を啓発するための研修機会を定期的に設定していく。

**1) 環境保全部会**

## (a) 部会開催

12月16日（水）

- ・学友会への環境関連部局の設置について、書面で要望することを承認した
- ・学内の全ての環境情報を周知するため、ニュースレターを発行することとし、紙面の計画と内容を検討した

## (b) 事業・活動

- ・学友会への要望書
- ・環境ニュースレター「エコの風」配布 1月28日
- ・太陽光パネル設置後の電力利用調査と評価

**2) 防災防犯対策部会**

## (a) 部会開催

・27年12月16日（水）13:00～13:30 第4会議室（部会委員8名参加）

議題：防災対策先進地視察について

自主防災組織創設について



**(b) 部会事業・活動**

- ・6月22日(月) 12:20~12:50 防災訓練事前担当者会議(533教室)

本年度は訓練の企画段階から防災士を取得した学生の参画を得て発災状況の設定、定められた避難経路の確認、避難時の危険箇所の点検、避難状況の評価シートの作成を行った。学生3名、部会委員5名参加。

- ・6月30日(火) 12:30~13:00 避難訓練(6号館、多目的グラウンド)

「松本市を震源とした震度7の地震が発生、6号館1階調理室より出火、6号館玄関ホールおよび渡り廊下付近が破損」を想定。6号館で講義を受けていた学生および教職員約400名参加。

- ・8月25日(火) 10:00~11:30 新村地区との合同防災訓練(大学正面ロータリー、新村地区)

「地域の防災」をテーマとしたPBL型授業と連携して実施。大学構内の地下貯水タンクを水源とした自衛消火ポンプの操法・放水訓練を行った後、大学に隣接する地区に設置されている消火栓設置箇所の確認と操作方法の訓練を松本市消防団第11分団(新村地区消防団)の指導で行った。

大学学生および教職員20名、新村地区住民30名参加。

- ・9月19日(土)・20日(日) 「防災士」養成講座(514教室、512教室)

受講者:74名(内訳:一般51名、本学学生23名)

受講者は小坂共栄元信州大学教授、東尾正元消防庁次長などによる講義を受講した後、小グループに分かれて図上訓練を行った。

本学学生は最終日の認定試験に全員合格した。

- ・平成28年3月3日(木)~5日(土) 防災対策先進地視察視察(鹿児島大学地域防災教育センター)

地震および豪雨暴風災害と噴火災害における防災・減災対策のありかた、鹿児島大学における防災士養成の取り組みを学んだ。

鹿児島大学地域防災教育センター教職員8名、本学部会委員4名